プログラム

10月31日(金) 9時55分~10時20分 学術大会長講演

オンデマンド配信あり

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

司会:松田 淳子 (大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科)

位置知覚における根拠と反証

淺井 仁 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)

10月31日(金) 10時20分~10時40分 パイプオルガン演奏

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

演奏者:春日 朋子(オルガニスト)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 特別講演1

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

司会:大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

運動学習の視点から見た片麻痺歩行再建の根拠と反証

長谷 公隆 (関西医科大学リハビリテーション医学講座)

10月31日(金) 12時00分~12時40分 ランチョンセミナー1

新しい技術の開発と理学療法士の役割

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長:大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

歩行トレーニングロボットの開発と普及

山田 和範 (パナソニック株式会社)

弾性繊維を用いた新しい歩行装具の開発

井上 武大 (東レ株式会社医療材部門開発グループ)

力まで見えるカメラで拓く研究・臨床・教育の未来

青木 治雄 (AcceleBody株式会社)

介護分野の新しい技術と理学療法士への期待 — コニカミノルタの挑戦とHitomeQ国際展開

古川 寛(コニカミノルタ株式会社FORXAI事業統括部QOLソリューション事業部)

共催:北陸大学健康未来社会実装センター

10月31日(金) 12時50分~13時50分 特別講演2

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

司会:森岡 周(畿央大学大学院健康科学研究科)

科学の哲学-根拠と反証のための問いの立て方

河野 哲也(立教大学文学部教育学科)

10月31日(金) 14時00分~15時30分 企画シンポジウム1

オンデマンド配信あり

心理学とリハビリテーションの融合-リハビリテーションの帰結に関わるモチベーションの 科学

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長:井上 靖悟 (東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部)

川崎 翼(東京国際大学医療健康学部理学療法学科)

心理学とリハビリテーションの融合:動機づけ研究の進展と課題

田中 悟志 (浜松医科大学医学部医学科心理学分野)

医療者と患者の視点から導く動機づけ介入のエビデンス

小宅 一**彰**(信州大学医学部保健学科理学療法学専攻)

リハビリテーション実践とモチベーションの科学-理論基盤・評価指標・アウトカムへの影響-

吉田 太樹 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

10月31日(金) 15時50分~17時20分 基幹シンポジウム1

オンデマンド配信あり

臨床のためのエビデンスブラッシュアップ - 根拠を活かすための考え方とその実践

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

司会:徳田 和宏(阪和記念病院リハビリテーション部)

保苅 吉秀 (順天堂大学医学部附属練馬病院リハビリテーション科)

脳卒中リハビリテーションにおける「臨床評価アルゴリズム」と「組織学習」の融合

生野 公貴(西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

臨床と研究を架け橋する地方民間病院の実践モデル:歩行障害の定量的評価から個別化アプローチまで

藤井 廉(武蔵ヶ丘病院武蔵ヶ丘臨床研究センター)

リアルワールドとエビデンスのギャップを整理する

河野 裕治 (藤田医科大学病院リハビリテーション部)

通所リハビリテーションにおいてエビデンスを活かすための考え方と実践

横山 広樹 (関西医科大学くずは病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 17時30分~19時00分 共催シンポジウム2

オンデマンド配信あり

学会主導型臨床研究と診療報酬への働きかけ

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長:野添 匡史(兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科)

髙橋 容子(順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

"理学療法"を心不全治療として守るためには

河野 裕治 (藤田医科大学病院リハビリテーション部)

日本神経理学療法学会、研究推進委員会におけるDiagnosis Procedure Combination (DPC) データベースを用いた研究とその方針

祈朗(昭和医科大学薬学部社会健康薬学講座薬剤疫学部門)

日本予防理学療法学会における理学療法を広げるためのエビデンス構築調査・研究活動

解良 武士 (高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科)

学会主導型臨床研究と診療報酬への働きかけ-呼吸領域-

沖 侑大郎(神戸大学大学院保健学研究科)

10月31日(金) 8時40分~9時30分 モーニングセミナー1

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

司会:大鶴 直史 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科)

感覚機能低下に対する理学療法 -根拠に基づく介入戦略と実践

大住 偏弘 (畿央大学健康科学研究科)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 **公募型シンポジウム1** 脳卒中後の意識障害患者の評価とリハビリテーション

オンデマンド配信あり

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

オーガナイザー:中川 俊(TMGあさか医療センター神経集中治療科)

1) 意識障害の概要と脳卒中後の意識障害患者の特徴

北野 貴之(浜松医療センター)

2) 意識障害患者に対する急性期リハビリテーションの実際

増田 健太 (TMGあさか医療センター)

3) 意識障害患者のQOLを高める取り組み。 意識障害患者の幸せとは何か

星あかね(鶴巻温泉病院)

10月31日(金) 12時00分~12時40分 ランチョンセミナー2

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

座長:奥埜 博之(奈良東病院リハビリテーション科)

地域に根ざした自費リハビリテーションの役割と展望

竹林 崇 (大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科)

共催:帝人株式会社

10月31日(金) 12時50分~13時50分 公募型シンポジウム2

オンデマンド配信あり

近赤外線分光法を利用した脳循環モニタリングがもたらす早期離床の新展開

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

オーガナイザー:椿 淳裕(新潟医療福祉大学)

岩田健太郎(神戸市立医療センター中央市民病院)

重症患者の離床時の脳酸素飽和度と予後

椿 淳裕 (新潟医療福祉大学)

急性期脳梗塞患者の離床時における脳循環モニタリング - 客観的評価による脳保護と積極的早期リ ハビリテーションへの展開 -

前川 侑宏 (神戸市立医療センター中央市民病院)

クモ膜下出血例に対する近赤外線分光法の臨床利用への取り組み - 標準的評価・治療への実践例 - 守屋 正道 (昭和医科大学)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 基幹セミナー1

オンデマンド配信あり

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

司会:猪村 剛史(広島大学大学院医系科学研究科)

統計手法とその反証 -P値至上主義からの脱却

紙谷 司(京都大学医学部附属病院臨床研究教育·研修部)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 共催シンポジウム1

オンデマンド配信あり

脳卒中者の排尿自立にむけた取り組み

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

座長:森 明子(兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科)

間所 祥子(金沢大学医薬保健研究域保健学系)

「気づきにくい排尿の問題」をチームで支える:脳卒中患者における泌尿器科医との協働

青木 芳隆 (名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院泌尿器科)

脳卒中者の排尿自立にむけた取り組み

正源寺美穂(金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域)

脳卒中者の排尿自立にむけた取り組みー理学療法の視点からー

安竹 千秋 (福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 公募型シンポジウム3

オンデマンド配信あり

急性期脳卒中における重症化予防・看護師連携の重要性

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

オーガナイザー:内藤 善規(豊橋市民病院リハビリテーションセンター)

急性期脳卒中におけるリスク管理・合併症予防・看護師連携ADL拡大

内藤 善規 (豊橋市民病院リハビリテーションセンター)

急性期脳卒中における疼痛管理と病棟連携

浦上 慎司 (JCHO星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)

急性期脳卒中における肺炎予防とセラピスト連携について

山中 裕介 (JCHO星ヶ丘医療センター看護部)

10月31日(金) 17時30分~19時00分 特別企画1

理学療法士に求められる災害支援活動 - 能登半島地震での活動を通じて

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

座長:中谷 知生(宝塚リハビリテーション病院療法部)

諸橋 勇(青森県立保健大学健康科学部理学療法学科)

平時の地域リハ活動と発災後の復興リハから見えた課題と学び

北谷 正浩 (石川県理学療法士会)

支援者, 受援者, 理学療法士(専門職)の立場から振り返る災害支援とリハビリテーションの本質について考える

奥佐 千恵 (珠洲市役所福祉課珠洲市健康増進センター)

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故後被災地における福島県地域リハビリテーション広域支援センターの活動について

小野田修一(南相馬市立総合病院リハビリテーション技術科相双地域リハビリテーション広域支援センター)

10月31日(金) 8時40分~9時30分 モーニングセミナー2

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

司会:田村俊太郎(太田医療技術専門学校理学療法学科)

生成AI×研究 - 最新テクノロジーを活用した研究活動の効率化

澤村 彰吾(平成医療短期大学リハビリテーション学科)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 口述1

脳損傷急性期1

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:内藤 善規(豊橋市民病院)

谷野 元一 (藤田医科大学岡崎医療センター)

O1-1 くも膜下出血患者に対する早期離床・リハビリテーション加算の導入は人工呼吸器離脱を早めるか?

加藤 大貴 (那須赤十字病院リハビリテーション科)

O1-2 90歳以上の超高齢脳梗塞患者に対する早期離床が循環動態に与える影響

青木 郁美 (北村山公立病院リハビリテーション室)

O1-3 くも膜下出血術後の頭痛により離床が難渋した一症例

井上 太志 (済生会熊本病院リハビリテーション部)

O1-4 実績指数40以上獲得に関与する要因の検討 〜急性期リハビリテーションの内容も加味 した検討〜

石森 翔太 (上尾中央総合病院リハビリテーション技術科)

O1-5 再発脳卒中患者に対する離床開始時期とADLスコアとの関連

徳田 和宏 (阪和記念病院リハビリテーション部)

O1-6 Pusher現象における転倒恐怖感の多様性と病態失認の関連性について

根津 利也 (順天堂大学大学院保健医療学研究科)

10月31日(金) 12時00分~12時40分 ランチョンセミナー3

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:前田 大忠(金沢医科大学病院リハビリテーションセンター)

医療・介護・福祉のサポートが必要な方でも"働く"ことを通して地域を支える

菅 博貴(株式会社リハス障害福祉サービス事業部北陸エリア)

共催:株式会社リハス

10月31日(金) 12時50分~13時50分 口述2

脳損傷急性期2

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:佐藤 元哉 (札幌白石記念病院)

鎌田 将星 (国立循環器病研究センター)

- O2-1 リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算が脳卒中患者の機能回復に与える影響 三上 翔太(医療法人弘善会矢木脳神経外科病院リハビリテーション科)
- **O2-2** くも膜下出血患者の早期離床は退院時の機能的予後に影響を与える 邑中シオン(飯塚病院リハビリテーション部)
- O2-3 Body Mappingによる脳卒中超急性期の前反省的身体感情の可視化:発症72時間からの 縦断的症例研究

産屋敷真大(市立福知山市民病院リハビリテーション科)

O2-4 血栓回収療法術を実施した虚血性脳卒中患者におけるせん妄の発症率、リスク因子の検証

角井 孝多 (旭川赤十字病院リハビリテーション科)

O2-5 急性期脳卒中患者のFIM効率に影響を与える因子の検討 -Geriatric Nutritional Risk Indexに着目して-

大野 維吹 (彩の国東大宮メディカルセンターリハビリテーション科)

O2-6 Branch Atheromatous Diseaseにおける早期神経学的悪化の独立予測因子としての併存疾患数

小宮 大輔 (大牟田市立病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 口述3

物理療法•疫学

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:小島 翔(新潟医療福祉大学)

光武 翼 (佐賀大学医学部附属病院)

O3-1 脳卒中後の下肢運動機能改善に向けた神経筋電気刺激パラメーターの探求:系統的レビュー

春山 大輝 (南東北第二病院リハビリテーション科)

O3-2 Virtual reality内での仮想歩行が脊髄反射回路へ及ぼす影響 山田 啓介 (順天堂大学大学院保健医療学研究科)

- **O3-3** 異なる強度の経皮耳介迷走神経刺激 (taVNS) が自律神経活動に及ぼす影響 松岡満稚子 (順天堂大学保健医療学研究科)
- **O3-4** 日本神経理学療法学術大会抄録を対象とした計量書誌学的分析―12年間の推移― 澤村 彰吾 (平成医療短期大学リハビリテーション学科理学療法専攻)
- O3-5 脳卒中患者に対するFugl-Meyer Assessment普及動向:学会抄録に基づく計量書誌学的分析と年次推移・地域差

O3-6 地域在住男性における各種肥満指標と認知機能の関連 -滋賀動脈硬化疫学研究-松野 悟之 (滋賀医科大学精神医学講座)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 口述セレクション1

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:玉利 誠(令和健康科学大学)

中山 恭秀 (東京慈恵会医科大学附属病院)

OS1-1 脳卒中片麻痺患者のAssociated Reaction評価法の妥当性検討

電光 遼 (順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座)

OS1-2 Gaussian混合モデルを用いた脳卒中患者のSVV特性の分類とバランス指標との関連性

林 翔太(群馬パース大学大学院保健科学研究科)

OS1-3 回復期脳卒中患者の退院時Fugl-Meyer Assessment上肢スコアの予測モデルの構築: 外的妥当性の検証

平山幸一郎(岸和田リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)

- OS1-4 歩行速度に制限を有する回復期脳卒中者の歩行速度に対する身体活動の量反応関係 清水 夏生(埼玉医科大学保健医療学部)
- OS1-5 歩行時視線制御の特異的代償戦略―脳卒中患者における機能・能力と視線パターンの関連―

堀めぐみ(畿央大学大学院健康科学研究科)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 口述セレクション2

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:金子純一朗(日本保健医療大学) 宮田 一弘(茨城県立医療大学)

OS2-1 脊髄損傷者に対する日本語版PASIPDの信頼性および妥当性の検証 澤田 智紀(慶應義塾大学医学部整形外科学教室)

- OS2-2Two-minute standing endurance testによる腰曲がりの検出と臨床的有用性の検討加藤 太郎(国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)
- OS2-3 小脳性運動失調歩行における方向特異的・速度依存的な体幹制御特性の定量的解析 山崎雄一郎(畿央大学大学院健康科学研究科神経リハビリテーション研究室)
- OS2-4 脊髄小脳変性症における運動学習への小脳下後葉の特異的寄与:深層学習に基づく解析 板東 杏太(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター身体リハビリテーション部)
- OS2-5 急性期脳卒中患者におけるobesity paradoxとサルコペニアの関連性 能勢菜都生(国立循環器病研究センター脳血管リハビリテーション科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 英語口述1

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:山口 智史(京都大学大学院) 村田 裕康(杏林大学)

OE1-1 Comparison of non-articulated and articulated ankle-foot orthoses (AFOs) in post-stroke rehabilitation: A scoping review

Kenichi Goto (Tenri Hospital, Department of Rehabilitation)

OE1-2 Acute Phase Weight Loss and Post-Acute Phase Walking Independence in Older Patients with Stroke

Genki Kai (Kitasato University, Department of Rehabilitation Sciences, Graduate School of Medical Sciences)

OE1-3 Acceptance and Adoption of Virtual Reality in Physical Therapy: A Scoping Review of Influencing Factors and Theoretical Frameworks

MINJOON KIM (Korea University, Department of Physical Therapy and School of Health and Environmental Science, College of Health Science)

OE1-4 Stride time variability during body weight-supported treadmill walking in older patients with stroke

Hiroo Koshisaki (Nanto Municipal Hospital, Department of rehabilitation)

OE1-5 Rasch-based validation of the Functional Gait Assessment in idiopathic normal pressure hydrocephalus

Yasutaka Nikaido (Osaka Medical and Pharmaceutical University Hospital, Clinical Department of Rehabilitation)

10月31日(金) 8時40分~9時30分 モーニングセミナー3

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

司会:永井 将太(金城大学医療健康学部)

理学療法士が担う認知症予防 - 最新エビデンスと実践

土井 剛彦 (国立長寿医療研究センター研究所老年学・社会科学研究センター予防老年学研究部)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 □述4

脊髄損傷1

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:深田 売 (千葉大学医学部附属病院) **佐藤 剛介** (奈良県総合医療センター)

O4-1 慢性期頚髄損傷者への長期的なリハビリテーション介入が日常生活動作に及ぼす効果に ついての後方視的調査

瀧本 一真 (国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局第二自立訓練部肢体機能訓練課)

O4-2 回復期病棟における6 Minute Push Testの実施と臨床的意義の検討 〜頚髄完全損傷者 一症例を通じた考察〜

高尾 茉侑 (JCHO星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)

O4-3 脊髄損傷に対する神経可塑性を促す刺激: 幹細胞治療とリハビリテーションの同時刺激 による機能回復の可能性

石河 直樹(ニューロテックメディカル株式会社リハビリテーション部)

O4-4 麻痺を呈した脊椎転移患者に対する根治的手術後の神経症状および歩行能力の改善について

黒川 由貴(名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻)

O4-5 脊髄髄内腫瘍患者に継手付き体幹装具を装着した動作練習により歩行中の倒立振り子運動に変化が見られた症例

大須賀 智(農協共済中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科)

O4-6 慢性期せき損者における視覚イメージを用いた下肢ワンバック課題時の脳活動

牧野 均(北海道文教大学リハビリテーション学科理学療法学専攻)

脳損傷回復期1

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:齋藤 智雄(甲府城南病院)

上杉 睦 (糀谷じんクリニック)

- **O5-1** 脳卒中後の運動学習効率における精神心理的変調の関与 -うつ、不安、アパシーの影響-川崎 翼 (東京国際大学医療健康学部理学療法学科)
- O5-2 脳幹梗塞とうつ病により運動主体感の低下を呈し介入に難渋した症例一目標設定と課題 特異的介入の重要性一

沼辺 拓登 (津軽保健生活協同組合健生病院リハビリテーション科)

O5-3 回復期リハビリテーション病棟の重度脳卒中者に対する身体活動参考目標値についての 検討-症例集積研究-

小林 昂将 (一般財団法人多摩緑成会緑成会病院リハビリテーション部)

O5-4 脳卒中片麻痺者へ電気刺激と下肢へのミラーセラピーを併用したため歩行能力が改善した一症例

上久保春祈(菊野病院総合リハビリテーション部)

O5-5 股関節痛により歩行再建に難渋した脳卒中患者に対するスプリットベルトトレッドミル を使用した一症例

深江 航也 (季美の森リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)

O5-6 脳卒中患者における歩行自立判定の妥当性と転倒リスクの予測 ~ロジスティック回帰分析による検討~

姫野 蒼大(赤羽リハビリテーション病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 口述6

脳損傷回復期2

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:中村 潤二 (西大和リハビリテーション病院)

木村 鷹介 (東洋大学)

O6-1 高頻度経頭蓋磁気刺激療法を施行した脳卒中片麻痺患者における FMA-UEの最小臨床 変化量の算出

藤田 萌(苑田会ニューロリハビリテーション病院リハビリテーション科)

- O6-2 脳卒中後肩関節痛の発症機序:末梢・中枢感作と機能障害の縦断的関連解析 山田 良 (岸和田リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)
- O6-3 脳卒中患者の歩行自立を促進する意欲と栄養状態の交互作用 佐藤 秋博(北福島医療センターリハビリテーション科)
- O6-4 脳卒中後の歩行に関する経験の構造:現象学的アプローチによる縦断事例研究 三枝 信吾 (畿央大学大学院健康科学研究科神経リハビリテーション学研究室)
- O6-5 リハビリテーションの拒否が脳卒中患者のADL改善に与える影響 -傾向スコアマッチングによる後ろ向き研究-

桑原 裕也 (大阪たつみリハビリテーション病院リハビリテーション部)

O6-6 回復期脳卒中患者の個別的な日常生活動作能力と身体活動量の関連性

井戸田 弦 (千里中央病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 **口述7** 脳損傷回復期3

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:八谷 瑞紀(西九州大学)

増田 知子(千里リハビリテーション病院)

O7-1 脳卒中後の下肢感覚性運動失調に対して荷重練習に振動刺激を併用した感覚性失語を有する一例

森末壮一朗(平成記念会平成記念病院リハビリテーション課)

O7-2 回復期脳卒中患者の歩行自立度判定における各体幹機能評価の有用性の違いとカットオフ値

矢田 拓也 (東京都リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)

- O7-3脳卒中後の上肢に関する経験の構造: 現象学的アプローチによる縦断事例研究森岡周 (畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター)
- **O7-4** 回復期脳血管疾患患者の在宅復帰予測における入院時FIM運動・認知カットオフ値の作成と検証

日髙 慧大(友愛会病院リハビリテーション科)

- **O7-5** 回復期における脳卒中患者の認知的方略が感情および機能的自立度に及ぼす影響 市川中希穂(洛西シミズ病院リハビリテーション科)
- O7-6 Scale for the Assessment and Rating of Ataxiaの四肢失調項目の合計点は退院時の 歩行自立と関連する

川嶋 浩己 (埼玉石心会病院リハビリテーション課)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 口述8

神経筋疾患1

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:山本 幸夫(宇多野病院)

木村 大輔 (川崎医療福祉大学)

- **O8-1** パーキンソン病患者の歩行開始から定常歩行の過渡期における歩行安定性の制御特性 浦上 英之(大阪医科薬科大学病院リハビリテーション科)
- O8-2 サイクリング運動の即時効果により歩行が改善した進行期パーキンソン病患者の一例 渡部 幸司 (順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室)
- **O8-3** パーキンソン病患者におけるRobot-Assisted Gait Trainingのすくみ足に対する即時効果の検証

亀山 啓博(順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室)

O8-4 回復期重症ギラン・バレー症候群に対する視覚性運動錯覚の有効性-ABAB型シングルケースデザイン-

家村 太 (岡山市立市民病院リハビリテーション技術科)

- O8-5 予後不良とされた壮年期軸索型Guillain-Barre Syndromeにおける早期歩行獲得の一例 小川 智生(福井総合病院リハビリテーション課理学療法室)
- O8-6 理学療法内容と練習量の可視化による歩行自立に至った要因の検討:重症皮膚筋炎患者 の一例

小関 秀宙 (藤田医科大学病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 口述9

神経筋疾患2

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:大沼 亮(目白大学) **春山幸志郎**(順天堂大学)

- **O9-1 脊髄小脳変性症に対する集中リハビリテーションの長期効果:7年間追跡研究** 板東 杏太(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター身体リハビリテーション部)
- **O9-2** パーキンソン病患者の歩行動作から機能的自立度における認知項目の得点予測 長谷川哲也(東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター)
- O9-3パーキンソン病の姿勢異常における動的評価法Two-minute standing endurancetestの有用性:症例報告佐藤 美紅(国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)
- **O9-4** パーキンソン病患者における骨盤の側方への変位側に対する主観的垂直位の関連性 三上 恭平(登戸内科・脳神経クリニックリハビリテーション科)
- **O9-5** 特発性正常圧水頭症患者のバランス評価におけるMini-BESTestの有用性-FGAとの関連性から-

坂本 和則(千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部)

O9-6 前庭障害患者におけるサルコペニア合併がバランスと歩行機能に与える影響 加茂 智彦(群馬パース大学リハビリテーション学部)

10月31日(金) 8時40分~9時30分 モーニングセミナー4

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

司会:深田 和浩 (東京都立大学人間健康科学研究科)

前庭リハビリテーションの最前線-めまい・バランス能力低下に挑む

塩崎智之(奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部教室)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 スキルアップレクチャー1

オンデマンド配信あり

身体特異性注意と運動制御 -運動機能低下を理解する新たな視点

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:酒井 克也 (東京都立大学健康福祉学部理学療法学科)

運動機能によって適応的に変化する身体特異性注意

会津 直樹 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

注意機能個人性に関する理解とリハビリテーション現場への応用可能性

櫻田 武(成蹊大学理工学部理工学科機械システム専攻)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 スキルアップレクチャー2

オンデマンド配信あり

脊髄機能の可能性を引き出す - 残存機能の可視化とその強化

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:佐藤 剛介(奈良県総合医療センターリハビリテーション部)

神経生理学的検査による残存機能評価と臨床応用への取り組み

諒(国立障害者リハビリテーションセンター研究所運動機能系障害研究部神経筋機能研究室)

国際標準評価法から読み解く脊髄損傷の回復可能性と残存機能の活用

古賀隆一郎(総合せき損センター中央リハビリテーション部)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 スキルアップレクチャー3 オンデマンド配信あり

脳梗塞急性期再灌流療法後の理学療法

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

啐長:藤野 雄次(順天堂大学保健医療学部)

"ナッシュビル・ホープ"から10 年-急性期理学療法の現場知と課題-

鎌田 将星 (国立循環器病研究センター脳血管リハビリテーション科)

脳梗寒急性期再灌流療法後の理学療法スキルアップ- 臨床目線のリスク管理と実践編 -

高良 光(琉球大学病院リハビリテーション部門)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 スキルアップレクチャー4

オンデマンド配信あり

歩行リハビリテーションの個別化治療戦略

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:関口 雄介(東北大学研究推進支援機構リサーチマネジメントセンター)

脳卒中後の歩行能力低下における病態構造の理解と歩行リハビリテーション戦略

水田 直道(日本福祉大学健康科学部)

急性期脳卒中歩行リハビリテーションにおける下肢装具選定の現状-客観的判断基準と個別化治療 戦略の提案

林 **祐介**(順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 スキルアップレクチャー5

オンデマンド配信あり

身体活動量のセンシングとその活用戦略

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:田島 敬之(東京都立大学健康福祉学部理学療法学科)

身体活動量評価の意義と導入のポイント

金居 督之 (金沢大学融合研究域融合科学系)

脳卒中患者における身体活動量と座位行動に対する介入実践

芦澤 遼太 (常葉大学保健医療学部理学療法学科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 公募型シンポジウム4

オンデマンド配信あり

こどもたちの発達支援における「語り」の力:家族と支援者が紡ぐFamily-Centered Care/Services

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

オーガナイザー:西川 良太(長野県立こども病院)

東 周平 (北九州市立総合療育センター)

発達支援における『語り』とFamily-Centered Care/Servicesの実現に向けて

西川 良太(長野県立こども病院)

新生児期から乳幼児期における『語り』:発達支援と家族支援

浅野 伝美(京都大学医学部附属病院)

学齢期から成人期への移行: 長期的視点からのFamily-Centered Care/Services

東 周平 (北九州市立総合療育センター)

10月31日(金) 8時40分~9時30分 モーニングセミナー5

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

司会:後藤 伸介(やわたメディカルセンターリハビリテーション技師部)

理学療法士のための働き方改革 -個人・社会のニーズに応じた組織マネジメント

江草 典政 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 口述10

脳機能

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:石渡 正浩(植草学園大学)

鈴木栄三郎(山形県立保健医療大学)

O10-1 肝膿瘍治療中にメトロニダゾール脳症とビタミンB6欠乏の併発によりADLが低下した1 例の経過

笠井 翔吾 (徳島県立海部病院リハビリテーション技術科)

O10-2 高齢者の抑制機能低下における神経基盤の変化: エラー関連陰性電位 (ERN) と脳内ネットワークの有向性解析

鵜飼 良誠 (京都橘大学大学院健康科学研究科)

O10-3 NMESを用いた非能動的運動誘発性鎮痛とその神経機構の解明 大賀 智史 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部)

O10-4 認知機能低下を予測するための抑制機能ネットワークの検証 - 若年者での事象関連電位の機能連関性 -

西本 和平(京都橘大学健康科学部理学療法学科)

O10-5 身体所有感の生成における感覚的・認知的要因の比較とDLPFC活動との関連 松崎 昌也(東京メディカル・スポーツ専門学校理学療法士科)

O10-6 異なる温度がP300と脳波に与える影響-簡易脳波計を用いた事象関連電位による検討-加藤 誠滋 (日本医科大学多摩永山病院整形外科リハビリテーション室)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 **口述11**

脳損傷歩行1

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:木内 隆裕(森/宮医療大学) **本田 啓太**(熊本保健科学大学)

- O11-1 片麻痺者の歩行速度増加に寄与する因子の検証 歩行アシストを使用した症例の検証 熊木由美子(横浜市立脳卒中・神経脊椎センターリハビリテーション部)
- O11-2 脳卒中患者における異常歩行パターンの分類と定義:スコーピングレビュー 北谷 亮輔 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科)
- O11-3 感覚性運動失調に対して腹臥位および壁面を利用した体性感覚入力により歩行能力が改善した1症例

新屋 成征 (飯塚病院リハビリテーション部)

O11-4 脳卒中者の不整地歩行における疲労と適応戦略の変化 ―筋電図振幅・周波数解析による 新たな知見―

乾 康浩 (畿央大学大学院健康科学研究科神経リハビリテーション学研究室)

- O11-5脳卒中症例の歩行安定性評価におけるStride Time Variabilityのカットオフ値の検討安本 光輝 (令和リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)
- **O11-6** Gait Assessment and Intervention Toolと機械学習から得られたパフォーマンス改善に有用な片麻痺歩行特徴

田中 宏明 (関西医科大学附属病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 口述12

脳損傷歩行2

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:伊藤 翔太(藤田医科大学病院) **久保 宏紀**(甲南女子大学)

O12-1 脳卒中患者における歩行時の時空間的対称性と身体機能および歩行能力の関係:スコーピングレビュー

林 祐介(日本神経理学療法学会戦略的課題解決委員会脳卒中歩行障害班)

- O12-2 脳卒中患者におけるLeading Limb Angleの 歩行速度に対する役割と関連要因の検証中尾 章吾(社会医療法人畿内会岡波総合病院リハビリテーション科)
- O12-3 急性期脳卒中片麻痺患者において金属支柱付短下肢装具装着により歩行速度が改善する 症例の臨床的特徴の検討

小松 慎弥 (順天堂大学医学部附属浦安病院リハビリテーション科)

O12-4 片麻痺歩行の特徴的な膝関節運動を構成する成分 -モーメントアームに注目した新たな解析-

間野 直人 (関西医科大学附属病院リハビリテーション科)

- O12-5 麻痺側立脚期の脚伸展角度と腓腹筋活動に基づく片麻痺歩行の機能分類 津嶋 勇一(福井総合病院リハビリテーション課理学療法室)
- ○12-6 機械学習による脳卒中者の不整地歩行不安定性の定量化 ─転倒リスク評価指標の探索─ 乾 康浩(畿央大学大学院健康科学研究科神経リハビリテーション研究室)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 □述13

脳卒中装具・ロボット1

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:佐藤 圭祐 (株式会社LIM PROJECTS) 井元 大介 (藤田医科大学病院)

- O13-1 脊髄梗塞に対する単関節型ロボットスーツHAL®の効果 1症例の経過から-波田 耕祐 (函館新都市病院リハビリテーション科)
- O13-2 歩行補助ロボットを用いた歩行練習による歩行機能改善の予測因子の探索: レスポンダー分類による決定木分析

安部 千秋 (十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科)

O13-3 歩行支援ロボットがPusher現象を伴う左視床出血患者の姿勢制御能力とADLを改善した一例

山本 将弘(しげい病院リハビリテーション部)

O13-4 脳卒中重度片麻痺患者に対するロボット支援歩行練習が体幹機能に及ぼす効果―従来練習との比較―

田巻 督広 (総合リハビリテーションセンター・みどり病院リハビリテーション科)

O13-5 脳卒中後片麻痺者歩行の床反力前後成分パターンにより短下肢装具の即時的変化は異なる

藤原 彩末 (関西医科大学附属病院リハビリテーション科)

O13-6 長下肢装具歩行の筋協調パターン-健常若年者を対象とした筋シナジー解析-池田降太郎(広島大学大学院医系科学研究科生体運動・動作解析学)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 口述14

脳卒中装具・ロボット2

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:大田 瑞穂 (令和健康科学大学) **平野明日香** (藤田医科大学病院)

O14-1 脳卒中手指麻痺に対する支援システムの開発とその効果検証─維持期脳卒中者への準ランダム化比較試験─

脇坂 成重 (桜十字福岡病院リハビリテーション部)

O14-2 片麻痺歩行におけるReverse Omega Shoe insertによる下腿部パワー効率に関する検討

春名 弘一 (北海道科学大学保健医療学部理学療法学科)

O14-3歩行学習支援ロボット (Orthobot®) を使用し歩行能力改善を認めた症例 ~ABABデザインでの効果検討~

深沢 渓太 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科)

- O14-4 脳卒中後いざり歩行患者に対する空気圧駆動足関節ロボットを用いた歩行再建の試み 新明 俊英 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所ブレインマシーンインターフェー ス研究室)
- O14-5 外骨格型歩行支援ロボットによる膝屈曲補助が脳卒中片麻痺患者の歩行機能および筋シ ナジーに与える影響

合田 陸斗 (宝塚リハビリテーション病院療法部)

O14-6 視床出血を呈した片麻痺患者に対して大腿近位カフをカットした長下肢装具を使用し歩 行獲得に至った症例

中畑 龍 (宮城県厚生協会坂総合病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 口述15

測定•評価1

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:塙 大樹(成蹊大学)

田村俊太郎(太田医療技術専門学校)

- O15-1 脳卒中発症後早期における体性感覚野の興奮性変化と体性感覚機能の改善との関連性 渡邉 拓(福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)
- O15-2 日本語版Trunk Impairment Scaleの妥当性の確立:本邦の亜急性期脳卒中患者を対象 とした検証

江口 舞人(いわてリハビリテーションセンター機能回復療法部)

O15-3 脳卒中者の歩行自立判断のカットオフ値は、Classical Test TheoryとItem Response Theoryで異なるか

篠原 智行(高崎健康福祉大学保健医療学部)

O15-4 現実環境と仮想現実環境におけるNose-finger test中の脳活動の違い

寺沢 陸人(金沢医科大学病院リハビリテーションセンター)

O15-5 没入型バーチャルリアリティを用いた半側空間無視評価システムとCBS・BITとの関連性の検討

江見 翔太 (苑田会ニューロリハビリテーション病院リハビリテーション科)

O15-6 急性期脳卒中患者に対する機械学習を用いた短縮版Berg Balance Scaleの妥当性と判別能の検討

石橋 貸(埼玉県済生会川口総合病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 ハンズオンセミナー1

事前予約制

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

座長: 奥埜 博之 (奈良東病院)

脳卒中後歩行再建のための機能的電気刺激

生野 公貴(西大和リハビリテーション病院)

共催: フランスベッド株式会社

10月31日(金) 12時50分~14時20分 **教育講演1**

オンデマンド配信あり

脳性麻痺

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

脳性麻痺の発達期別(新生児~幼児期)の理学療法

儀間 裕貴(東京都立大学健康福祉学部理学療法学科)

脳性麻痺の発達期別(学童期・青年期)の理学療法

楠本 泰士 (福島県立医科大学保健科学部理学療法学科)

脳性麻痺の理学療法のエビデンス

川崎詩歩未 (東京科学大学工学院)

10月31日(金) 14時40分~16時10分 **教育講演2**

オンデマンド配信あり

筋萎縮性側索硬化症

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

筋萎縮性側索硬化症の病期別(診断早期)の理学療法

北野 晃祐 (村上華梨堂病院リハビリテーション科)

筋萎縮性側索硬化症の病期別(進行期)の理学療法

寄本 恵輔 (国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

筋萎縮性側索硬化症の理学療法のエビデンス

上出 直人(北里大学医療衛生学部)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 タスクフォース企画

エキスパートでDiscussion!研究のTips & Pitfall - 戦略的課題解決委員会(タスクフォース)の成果報告を交えて

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

コメンテーター: 菊地 豊 (脳血管研究所美原記念病院)

司会:野添 匡史(兵庫医科大学)

富田 洋介 (高崎健康福祉大学)

渡辺 学(北里大学メディカルセンター)

山中 雄翔 (大阪大学医学部附属病院)

佐藤 剛介 (奈良県総合医療センター)

木村 鷹介 (東洋大学)

中村 学(済生会東神奈川リハビリテーション病院)

岡田 洋平 (畿央大学)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 **地方会企画** 全国版Neuro Cafe - 神経理学療法の地方展開 -

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

司会: 平野明日香 (藤田医科大学病院) 岡嵜 太洋 (加賀市医療センター)

平野明日香 (藤田医科大学病院)

星野 高志 (刈谷豊田総合病院)

内山 圭太 (金沢赤十字病院)

安倍 恭子 (済生会山形済生病院)

福田 真也 (橋本病院)

平塚 健太 (函館市医師会看護・リハビリテーション学院)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 **e-Poster1**

小児•発達

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:川崎詩歩未(東京科学大学)

eP1-1 周術期リハビリテーション介入にて良好な経過を得た脊髄空洞症を合併したキアリ I 型 奇形の一例

福山りか子(南福岡脳神経外科病院リハビリテーション科)

eP1-2 成長期の片麻痺児の装具調整例 -歩行自立した左硬膜外血腫後の1例-

千原菜名子(医療法人渓仁会渓仁会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP1-3 若年脳性麻痺者の歩行時における身体活動量計の信頼性と妥当性の検証

小針 友義 (帝京平成大学健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科)

eP1-4 脳性麻痺児のリハビリテーションにおける声かけの文調が脳内ネットワークに与える影響の検証

山内 良祐 (京都橘大学健康科学研究科)

eP1-5 在宅生活維持を目的とした訪問理学療法介入の一症例〜脳性麻痺による長期非介入後の 生活再構築〜

中窪美佐緒(リハビリ訪問看護ステーション東大阪リハビリテーション科)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 e-Poster セレクション1

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:中谷 知生(宝塚リハビリテーション病院)

髙良 光(琉球大学病院)

ePS1-1 足関節補助ロボットの使用が歩行中のヒラメ筋H反射に及ぼす影響

渡邉 愛(広島大学大学院医系科学研究科生体運動・動作解析学)

ePS1-2 傾向スコアを用いた歩行支援ロボットの効果検証 — 脳卒中片麻痺患者の歩行自立までの期間に着目して —

森 輝 (福岡みらい病院リハビリテーションセンター)

ePS1-3 重症虚血性脳卒中患者における注視偏倚と体幹起居能力は 脳卒中関連肺炎を独立に予測 する

本川 剛志 (トヨタ記念病院リハビリテーション科)

ePS1-4 脳卒中後体幹機能評価の統合的構造解明 —多尺度因子分析とRasch解析による新評価モデル—

田上 友希 (畿央大学大学院健康科学研究科神経リハビリテーション学研究室)

ePS1-5 スペクトログラム形状特徴量を用いた定常歩行からのパーキンソン病のすくみ足の識別: 横断研究

寺澤 雄太(西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 e-Poster セレクション2

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:石黒 幸治(富山大学附属病院) 富田 洋介(高崎健康福祉大学)

ePS2-1 脳卒中患者に対する短下肢装具と機能的電気刺激の併用効果: N-of-1 trial 加藤 雄大 (札幌麻生脳神経外科病院リハビリテーション部)

ePS2-2 パーキンソン病の歩行障害に対する位相同期型クローズドループ経頭蓋電気刺激療法の効果

堀場 充哉(名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻理学療法学コース)

- ePS2-3 クローズドループ脳電気刺激がパーキンソン病患者の歩行時筋制御に及ぼす変化 堤 聖斗 (名古屋市立大学大学院医学研究科)
- ePS2-4 脳損傷後の上肢重度運動麻痺に対する仮想身体を能動的に制御する運動錯覚療法効果の 筋電図学的検証

深田 和浩 (東京都立大学人間健康科学研究科)

ePS2-5 帰属感を有した仮想身体の歩行運動の観察により誘発されるヒラメ筋H反射の歩行相依存的変化

棚町 兼也(東京都立大学人間健康科学研究科理学療法科学域)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 e-Poster2

高次脳機能不全1

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長: 岡元 信弥 (名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院)

eP2-1 右後大脳動脈梗塞により左半側空間無視と地誌的見当識障害を呈し、病棟生活の拡大に 難渋した一症例

石川 大輔 (国家公務員共済組合連合会三宿病院リハビリテーション科)

- eP2-2 半側空間無視の症状特性に基づく介入により身体機能や日常生活動作が改善した1症例 江田 昌幸(岸和田リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)
- eP2-3 右中大脳動脈梗塞によりApathyを呈した1例-前頭葉機能の向上を目指した運動療法-藤原 暢紀(釧路孝仁会記念病院リハビリテーション部)
- eP2-4 頭部外傷により社会適応力の困難さを呈した若年症例の屋外活動自立までの経過 武部 優希 (千里リハビリテーション病院セラピー部)
- eP2-5 右後大脳動脈領域梗塞により地誌的失見当を呈した1例-病棟内ADLの自立に向けた言語的代償の指導-大須賀 樹 (釧路孝仁会記念病院リハビリテーション部)
- **eP2-6** 高次脳機能不全患者におけるTMT-A/Bスコアと基礎的認知 (MMSE) の相関─経過報告 古澤 浩生 (リハビリテーション天草病院リハビリ部)
- eP2-7 重度の全般的注意、記憶低下を有する左脳梗塞患者への環境調整を行い歩行再建を図った症例報告

石川 真子 (社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 **e-Poster3** 高次脳機能不全2

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:林田 一輝(宝塚医療大学)

- eP3-1 道順障害を呈した1症例に対するフロアマップを用いた視覚的支援の効果 斉藤 吉男 (原三信病院リハビリテーション科)
- eP3-2 病態失認と個人因子を踏まえた運動療法が有効だった視床出血患者の1例 初瀬川弘樹(彩都リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP3-3 Pusher Behaviorに対する立位・歩行練習における患者能動性の影響-シングルケースデザイン-

加藤 涼平 (鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP3-4 半側空間無視の重症度と能動的・受動的注意の協調性の関係~衝動性眼球運動時間を用いた3症例の比較検討~

吉村 雅史(レ・ハビリス桜十字老健本部)

eP3-5 注意ネットワークの構造的機能的結合の相関性の解析 實石 達也 (植草学園大学保健医療学部)

- eP3-6 左半側空間無視と注意障害を合併した脳出血患者に対しての探索歩行練習の効果 松岡 廣典 (平成の森・川島病院リハビリテーション部)
- eP3-7 没入型Virtual Realityと頸部振動刺激の併用により無視領域および連続歩行距離の改善を示した一症例

石山 雄一 (花はたリハビリテーション病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 **e-Poster4** 脳損傷生活期

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:井上 大介(訪問看護リハステーションおんか)

eP4-1 当院における生活期脳卒中者の下肢痙縮に対するボツリヌス療法とリハビリテーションの併用効果

須藤隆太郎 (ミロク脳神経リハビリクリニックリハビリテーション科)

- eP4-2 慢性期脳卒中片麻痺者におけるリアルタイム聴覚フィードバックの介入効果 荒木 草太 (東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科)
- eP4-3 身体活動の可視化に基づく指導が脳卒中者の身体活動量に及ぼす影響:マルチベースラインデザインによる検証

柳澤 雄大 (初台リハビリテーション病院生活期支援部)

eP4-4 生活期に自費リハビリテーションサービスを使用し、ADLの向上を認めた重度四肢麻痺の一例

髙根 大地 (脳卒中リハビリパートナーBrightリハビリテーション部)

- eP4-5 在宅におけるパーキンソン病患者に対する感覚刺激を併用した歩行練習の効果 小川 智貴(わかたけ訪問看護ステーション理学療法士)
- eP4-6 心筋梗塞と脳梗塞の併発症例における、維持期外来心臓リハビリテーションでの運動療法を経験して

金子 明紀 (那須赤十字病院リハビリテーション科部)

eP4-7 中枢性めまいを呈した症例に対する在宅での前庭リハビリテーション介入 - 症例報告 - 大矢 純也 (西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 **e-Poster5** 脳損傷歩行1

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:嘉戸 直樹(神戸リハビリテーション衛生専門学校)

eP5-1 脳卒中片麻痺者における非麻痺側及び麻痺側からの最大歩行速度下による歩行開始動作の比較

杉村 雅人 (伊予病院リハビリテーション部)

eP5-2 カーボン製湾曲杖が片麻痺者の立脚終期の筋活動に及ぼす影響

中村 翔太 (医療法人札幌麻生脳神経外科病院リハビリテーション部)

eP5-3 Magnetic Apraxiaに対しペダリング運動により歩行が改善した1例 〜表面筋電図計を 用いた歩行分析の有用性〜

嶋﨑 健一 (脳血管研究所美原記念病院リハビリテーション部)

eP5-4 既往と反対側の脳梗塞発症による増悪した異常歩行に対して免荷歩行練習が有効であった一症例

eP5-5 傾斜連動型VRトレッドミルが歩行に及ぼす影響:自己効力感と床反力指標の変化に着目 した脳卒中後症例

経塚 愛以(神奈川県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション部)

eP5-6 混合性失語症を呈した脳卒中片麻痺患者においてトレッドミル歩行練習が有効であった 一症例

前田 高士 (青森新都市病院リハビリテーション科)

eP5-7 脳卒中片麻痺者の歩行開始動作における杖の影響:筋活動、効率性、心理面について 六角 郁乃(初台リハビリテーション病院回復期支援部)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 **e-Poster6** 脳損傷歩行2

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:松澤 雄太 (都城リハビリテーション学院)

eP6-1 小脳失調患者の歩行回復における運動学的/筋電図学的パターンの特性 ケースシリーズ 研究

濵口 峻(武蔵ヶ丘病院リハビリテーション部)

- eP6-2 大股歩行練習により立脚期の膝関節角度と歩行速度に改善を認めた橋出血例 有馬 加偉 (済生会東神奈川リハビリテーション病院セラピスト部)
- eP6-3 脳卒中患者における皮質網様体脊髄路の拡散指標と歩行の構造連関:筋シナジーを介した構造方程式モデリング

立石 貴樹 (武蔵ヶ丘病院武蔵ヶ丘臨床研究センター)

- eP6-4 マーカーレス動作解析システムによる脳卒中患者の歩容可視化に関する予備的研究本田 啓太 (熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科)
- eP6-5 脳卒中片麻痺者の歩行速度に影響を及ぼす歩行の運動学的特性ーパス解析を用いた試みー

米原 希(五日市記念病院リハビリテーション部)

eP6-6 脳卒中後片麻痺患者における麻痺側推進力を介して歩行速度に影響を及ぼす運動学的特徴の解明

浮貝 春菜(慶應義塾大学病院リハビリテーション科)

eP6-7 慢性期脳卒中後痺者の下肢運動麻痺に対する運動錯覚療法の効果の予備的研究 -シング ルケースデザイン-

円 淳平 (広島都市学園大学健康科学部)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 **e-Poster7**

脳損傷歩行3

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:伊藤 和寛(鈴鹿医療科学大学)

eP7-1 脳卒中症例の歩行能力と前庭脊髄路興奮性との関連

中村 潤二 (西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP7-2 重心追尾型歩行計測システムを用いた脳卒中症例の歩行分析 一脳卒中症例の歩行特性に おける縦断的変化—

田中 幸平 (静岡リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP7-3 LGMDを併存した脳卒中患者に対する機能的電気刺激が歩行機能に及ぼす影響の検討: 症例報告

瑞慶覧弘哉(横浜なみきリハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP7-4 脳卒中片麻痺患者における歩行速度と下肢推進力の関係〜身体機能による違いに着目して〜

川上 航(脳血管研究所美原記念病院リハビリテーション部)

- eP7-5 回復期脳卒中患者の歩幅と歩行率に基づく歩行戦略の違いと機能的な特徴:探索的研究 阿部 大樹 (イムス板橋リハビリテーション病院リハビリテーション科)
- eP7-6 IMUセンサを用いた脳卒中片麻痺患者のTUG動作解析 〜運動麻痺との関連性の検討〜 吉原 哉汰 (医療法人社団鎮誠会令和リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)
- eP7-7 重心追尾型歩行計測システムを用いた脳卒中患者の歩行分析 ―典型的異常歩行を呈する 3症例の対比考察―

橋本 昂己 (静岡リハビリテーション病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 **e-Poster8**

脳損傷歩行4

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:前川 遼太 (医療法人恒仁会近江温泉病院)

eP8-1 脳卒中片麻痺患者に対する懸架式歩行器の抵抗負荷による歩行練習の効果-シングルケースデザインによる検討-

楠 友也(南砺市民病院地域リハビリテーション科)

- eP8-2 脳卒中片麻痺者のRobot-Assisted Gait Trainingに伴う内観と身体機能の経時的変化 石原 匠 (東大阪病院リハビリテーション部回復期リハビリテーション課)
- eP8-3 失調性歩行に対するSmartphoneを用いた歩行計測とRhythmic Auditory Cueingの効果検証 〜単一事例研究〜

黒田 歩 (千里リハビリテーション病院セラピー部)

eP8-4 髄芽腫腫瘍摘出術後の症例に対して免荷式歩行器を使用した一例

田村 祐樹 (老年病研究所附属病院リハビリテーション部)

eP8-5 障害歩行の特徴分析 一追尾型歩行計測システムにより得た変数群に対する因子分析・クラスター分析を用いて一

志水宏太郎 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所運動機能系障害研究部)

eP8-6 内反尖足を呈した脳卒中片麻痺患者に対する手術療法後の歩行変化―足底圧評価機器を 用いて―

桑原 萌(熊本機能病院総合リハビリテーション部)

eP8-7 BWSOTが運動失調患者に対する歩行能力改善に与える要因の一考察 – シングルケースによる検討 –

熊木 純一 (総合リハビリテーションセンター・みどり病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 **e-Poster9** 脳損傷歩行5

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:大塚 圭 (藤田医科大学)

eP9-1 脳卒中片麻痺者の6分間歩行中の骨盤加速度の変化に関連する要因の検討 -前向き観察研究-

松浦 央憲 (アクラス中央病院副診療・リハビリテーション部)

eP9-2 筋電図バイオフィードバックにより歩行時の足関節の筋活動パターンが改善した脳卒中の一症例

林 翔太 (済生会東神奈川リハビリテーション病院セラピスト部)

eP9-3 内発性と外発性運動の相互利用で運動開始困難が改善したが、すくみ足が残存した補足 運動野損傷の一症例

中村 晴 (浅ノ川総合病院リハビリテーションセンター)

eP9-4 Virtual Reality機器を用いた介入で歩行能力の改善を認めた, 既往に慢性期脳出血片麻 痺を認める一症例

松江 佑樹(わかくさ竜間リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP9-5 分回し歩行が残存した亜急性期脳卒中患者に対して非麻痺側体幹部に着目して介入を 行った症例

川本 舞(JCHO星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)

eP9-6 感覚障害を呈する脳卒中者への体性感覚FBが歩行へ及ぼす影響 -シングルケースデザインによる検討-

藤島 康幸(福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP9-7 小脳脳卒中患者の入院リハビリテーションの効果と退院後の歩行能力および身体活動量の変化

上村 悠起(高井病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 e-Poster10

脳損傷急性期1

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:髙橋 忠志 (東京都立荏原病院)

ep10-1 水頭症、脳膿瘍、高カリウム血症を併発し、早期離床に難渋したものの歩行再建を目指した脳室内出血の一症例

菅原 侑哉 (社会医療法人医翔会白石記念病院リハビリテーション技術室)

ep10-2 回復期における装具作成判断に対する急性期情報の有用性 〜他施設間情報共有の実態と 今後の展望〜

鈴木 智也 (医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院リハビリテーション科)

ep10-3 全失語を呈した急性期脳梗塞症例に対し、画像所見を基に早期から長下肢装具を用い歩 行練習を行った一例

高橋 和生 (岸和田徳洲会病院リハビリテーション科)

ep10-4 急性期脳卒中患者に対するIVESと装具併用の有用性

八巻瑛理奈(イムス三芳総合病院リハビリテーション科)

- ep10-5 脳卒中急性期の意識障害に対して複数の感覚入力を行い覚醒向上へ至った症例 吉岡 直輝 (東戸塚記念病院リハビリテーション科)
- ep10-6 浅側頭動脈 中大脳動脈吻合術後の頭位挙上に伴う脳循環動態の変化をウェアラブル NIRSで評価し得た一例

髙田 勇 (加賀市医療センターリハビリテーションセンター)

ep10-7 急性期脳卒中患者における低身体活動量は合併症の発生率を高める

片桐 里央(新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 **e-Poster11**

脳損傷予後予測1

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:大村 優慈(湘南医療大学)

- eP11-1 脳腫瘍術後の運動機能およびADL変化に影響を与える要因の解析 楠田 賢斗(広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門)
- eP11-2 亜急性期脳卒中患者の自立歩行獲得に影響する因子: 予備的調査 常盤 雄地 (尼崎だいもつ病院リハ技術部理学療法科)
- eP11-3 急性期脳卒中患者におけるFunctional Bridge Testの歩行自立予測に対する有用性 佐々 直紀(日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科)
- eP11-4 急性期脳卒中患者における身体機能および入院前生活環境が退院先に与える影響の検討 竹永 秀平(下関市立市民病院リハビリテーション部)
- eP11-5 頭部CTより算出した脳出血例の皮質脊髄路病変体積と上肢、手指、下肢の長期運動機能 予後の関連

内田 武正 (甲州リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP11-6 回復期脳卒中片麻痺患者における歩行自立予測モデルの外的妥当性と3ヶ月以降の歩行 獲得率の検討

渕上 正浩 (横浜鶴見リハビリテーション病院リハビリテーション技術科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 **e-Poster12** 脳損傷予後予測2

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:山下 浩樹 (いわてリハビリテーションセンター)

- eP12-1 転院を用した機械的血栓回収術後患者の自宅退院に影響する因子の検討 山本 諒(倉敷中央病院リハビリテーション部)
- eP12-2 回復期脳卒中患者の歩行自立獲得までの日数に高次脳機能障害が影響するか 武藤 佑太 (上尾中央総合病院診療技術部)
- eP12-3 脳卒中発症後、短時間で治療開始に至った症例の予後を検討 曽川 沙良(イムス三芳総合病院リハビリテーション科)
- eP12-4 入院時の歩行能力と運動麻痺重症度別にみた回復期脳卒中患者の歩行と Functional Independence Measure の経過

松本 拓也 (JCHO星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)

eP12-5 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者のトイレ動作自立予測モデルの開発と内的検証

齋藤 拓之 (老年病研究所附属病院リハビリテーション部)

- eP12-6 回復期脳卒中患者の歩行自立獲得日数へ影響する因子について 福田 真也 (医療法人社団和風会橋本病院リハビリテーション部)
- eP12-7 脳卒中患者における退院時身体機能と退院後の転倒・生活関連指標との関連 伯川 聡志 (令和リハビリテーション病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 **e-Poster13** 脳損傷バランス1

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:五十嵐達也(文京学院大学)

eP13-1 慢性硬膜下血腫術後患者の術後mini-Balance Evaluation Systems Testと入院日数の 関係

白石 陸(埼玉石心会病院リハビリテーション課)

eP13-2 急性期多発性脳梗塞により生じたisolated Body Lateropulsionの軽減により歩行バランス能力向上を認めた症例

吉原 遼 (医療法人社団平成会藤枝平成記念病院リハビリテーション部)

eP13-3 脳卒中患者の立位姿勢の特徴分析 ―静止立位時の足圧中心より得た変数群に対する包括的多変量解析―

天野 浩也 (静岡リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP13-4 片側の前庭機能低下症例に対する感覚代行を用いた代償的姿勢制御戦略の獲得-再帰定量 化分析を用いた検討-

eP13-5 Body Lateropulsionを呈した症例の初期接地における筋活動の時系列変化と病巣別解析について

長谷 一基(つがる西北五広域連合つがる総合病院リハビリテーション部)

eP13-6 ヘッドセット型脳波計を用いた頭頂葉機能評価の予備的検討 小崎 瑞貴 (東海光学株式会社脳科学推進室)

eP13-7 中等度~重度脳卒中片麻痺者を対象としたBerg Balance ScaleのRasch分析と Keyformの構築

佐藤佑太郎 (新さっぽろ脳神経外科病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 **e-Poster14** 脊髄損傷急性期1

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:江口 雅之(中部労災病院)

- eP14-1 急性期病院で歩行練習を開始できた高齢頸髄損傷患者の特徴 鈴木 一輝 (豊橋市民病院リハビリテーション技術室)
- eP14-2 重度四肢麻痺と呼吸筋麻痺を呈した視神経脊髄炎スペクトラム疾患患者に対する段階的 な急性期理学療法

中嶋 拓也 (北里大学病院リハビリテーション部)

- eP14-3 頚髄不全損傷AIS Cの3症例における受傷後2カ月時点の歩行能力と関連因子の検討 上條 貴広 (東京労災病院中央リハビリテーション部)
- eP14-4 脊髄損傷後、ASIA機能障害尺度(AIS)低下も姿勢制御能力向上で脊髄障害自立度評価 (SCIM)が改善した一例

山﨑 智子 (東京労災病院中央リハビリテーション部)

eP14-5 対麻痺を呈したMOG抗体関連疾患患者に対する歩行練習の効果 一定量的に運動負荷量を設定した一例—

齊藤 駿亮 (横須賀共済病院リハビリテーション科)

- eP14-6 スリングを早期導入し、起立介助量軽減、歩行能力獲得に繋がった頸髄損傷の症例 今野 真樹(品川志匠会病院リハビリテーション科)
- eP14-7 日常的に生じる疼痛が身体の映像を投影する視覚フィードバック時のみ軽減した高位頸 髄損傷重度介助症例

山本 航大 (医療法人紅萌会福山記念病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 e-Poster15

脊髄損傷急性期2

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:古賀隆一郎 (総合せき損センター)

eP15-1 脊髄損傷者の歩行時FES介入が下肢関節運動に与える影響

田中 耀介 (東京大学大学院総合文化研究科)

eP15-2 頚髄損傷後上肢機能回復におけるiNems介入効果: Tau-U解析に基づく多面的臨床指標 の推移

橋本笙太郎(介護老人保健施設サンバーデンリハビリテーション)

eP15-3 高齢外傷性頚髄不全損傷者一症例への座位排便導入の実践報告

雨田 真(かんざき整形外科リハビリテーション科)

eP15-4 免荷式歩行リフトと両長下肢装具を使用した歩行練習により、起居動作能力が向上した 脊髄梗寒患者の一症例

高慶あやか(丸川病院リハビリテーション部)

eP15-5 第12胸椎圧迫骨折により完全対麻痺を呈した症例 -プッシュアップ能力が低い患者への 移乗動作の工夫-

岸本健太郎(川崎医科大学総合医療センターリハビリテーションセンター)

eP15-6 脊髄損傷不全麻痺患者に対する段階的装具療法により予後予測を上回り屋外歩行自立を 達成した一症例

村田 健太 (東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP15-7 脊髄炎後のSpastic movement disorderに対する介入により歩行再建を目指した一例 前原 寛潔 (大浜第一病院診療技術部リハビリテーション科)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 **e-Poster16**

脳損傷その他

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:吉田 剛(高崎健康福祉大学)

- eP16-1 身体機能の温存を目的に覚醒下マッピング手術に理学療法士が術中評価に参加した症例 李 瑛熙(長崎大学病院リハビリテーション部)
- eP16-2 退院後脳卒中患者に対する早期退院支援と遠隔リハビリテーションの効果:スコーピングレビュー

山森 圭祐 (春日井整形あさひ病院リハビリテーション科)

eP16-3 脳卒中リハビリテーションにおける理学療法プログラムの認知度に関するアンケート調査

堀本 佳誉 (千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)

eP16-4 Virtual Reality (VR) を使用した周辺視野トレーニングによるバランス能力の影響 北村 侑梨 (帝京平成大学健康メディカル学部理学療法学科) eP16-5 統一評価を活用したカンファレンスの臨床的意義 ~病態把握への貢献に関する探索的 検討~

大山 史洋(福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP16-6 手指の運動学習による大脳皮質安静時機能結合変化

浦川 将(広島大学大学院医系科学研究科リハビリテーション情動科学)

eP16-7 脳卒中モデルラットに対するDeepLabCutを用いたビームテスト解析の試み

大野 洋一 (高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 e-Poster17

脳損傷測定·評価1

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:奥田 裕(帝京科学大学)

eP17-1 脳卒中患者における両手協調運動の特性:健常高齢者との比較

清水 直生(京都橘大学大学院健康科学研究科)

eP17-2 亜急性期脳卒中患者における空間ナビゲーション能力と前庭・運動・バランス機能との関連性

西須 一紗 (沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション課)

eP17-3 地域在住高齢者を対象に計測したミスマッチ陰性電位の運動負荷前後変化から軽度認知 障害を捉える

石田 聖岳 (名古屋市立大学大学院医学研究科)

eP17-4 脳卒中患者における多方向・多距離への座位リーチ動作特性

小川かれん(高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科)

eP17-5 脳卒中患者の歩行に関連するBerg Balance Scaleのカットオフ値の外的検証

円村俊太郎(太田医療技術専門学校理学療法学科)

eP17-6 脳血管疾患患者を対象とした退院後における雪上歩行実施の予測因子~回帰分析と決定

木分析による検討~

工藤健太郎(医療法人雄心会青森新都市病院リハビリテーション科)

eP17-7 脳卒中患者と脊髄小脳変性症患者の手指把持力調節の相違一疾患の特異性と共通性に着

目して一

赤口 諒(摂南総合病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 e-Poster18

脳損傷測定・評価2

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:中園 哲治 (北里大学病院)

eP18-1 脳卒中後における麻痺側遊脚期の筋緊張異常と関連病巣の特定

増子 潤(一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院リハビリテーション科)

eP18-2 歩行能力評価における側方下肢荷重力測定法の有用性の検討

牧野 美里 (弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域)

- eP18-3 回復期脳卒中患者の歩行能力が改善する経過でみられる筋輝度および筋厚の変化 大河内 敦 (善常会リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP18-4 痙縮成分の分離を可能にする生体工学的評価装置の開発とその妥当性の検証 牧野 航(社会医療法人春回会長崎北病院総合リハビリテーション部)
- **eP18-5** 脳卒中者のMotor Activity Log-14 (MAL-14) の構造的妥当性の検証 横山 広樹 (関西医科大学くずは病院リハビリテーション科)
- eP18-6 慢性期脳卒中者の歩行速度とLife Space Assessmentの関係: 階層的クラスター分析を 用いた探索的研究

荒井 一樹 ((株)豊通オールライフヘルスケア事業部)

eP18-7 眼球運動障害を呈した外傷性脳損傷患者における視線推移と姿勢制御・歩行安定性の変化: 症例報告

都田 流平 (武蔵ケ丘病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 **e-Poster19**

脳損傷測定·評価3

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:田邉 紗織(誠愛リハビリテーション病院)

- eP19-1 座位保持中の上肢使用傾向の数値化によるPusher現象における既存の評価法との比較 高野 寛之 (金沢大学医薬保健学域総合研究科保健学専攻)
- eP19-2 脳卒中片麻痺患者における歩行時の膝関節動揺性に対する理学療法介入の効果-Open poseを用いた一症例の検討-

石田 裕樹(イムス板橋リハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP19-3 日常生活での起立に伴うめまい症状を有する若年女性におけるヘッドアップ時の局所脳 内酸素動態の特徴

入江 有紀(金沢大学医薬保健学域保健学類)

eP19-4 脳卒中片麻痺患者の杖使用の有無を判別する身体機能:地域差を考慮した一般化線形混合モデルによる横断研究

釜﨑大志郎(西九州大学リハビリテーション学部)

eP19-5 悪性中大脳動脈梗塞に対する開頭減圧術後の長期機能回復の可能性 -1症例の12ヶ月追跡-

佐藤 奏子(つくばセントラル病院総合リハビリテーションセンター)

- eP19-6 筋電図を用いたことで予測的姿勢制御の障害を認めた補足運動野領域の脳出血症例 大津 友樹 (魚沼基幹病院リハビリテーション技術科)
- eP19-7 急性期脳出血後の運動失調患者における歩行器歩行自立の目安としてのBBSの検討:3症 例の検討

立川 雄斗 (東京都済生会中央病院リハビリテーション技術科)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 e-Poster 20

脳損傷急性期2

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:大谷 武司(安曇野赤十字病院)

eP20-1 Contralesional Lateropulsionの評価が、早期歩行訓練手段選定の一助となった左被殻 出血の一症例

渡邊 暁 (湘南鎌倉総合病院リハビリテーション部)

- eP20-2 症例の経験に基づく運動イメージの提示がPusher behaviorの改善に貢献した症例 田川菜乃羽 (島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)
- eP20-3 脳梗塞発症後における活動量と筋量変化の経過観察をした1症例 永田 康祐(昭和医科大学藤が丘病院リハビリテーション室)
- eP20-4 機械的血栓回収療法後の脳梗塞患者における身体機能と認知機能の継時的変化の特徴 小村 優斗 (北里大学大学院医療系研究科)
- eP20-5 急性期脳卒中後の疼痛・しびれ感に対する段階的TENS介入が有用であった症例 古賀 優之 (川西市立総合医療センターリハビリテーション科)
- eP20-6 急性期軽症脳梗塞患者における自宅退院に関連する因子の検討-入院後早期での転帰予測-- 岡田 直樹 (高槻病院技術部リハビリテーション科)
- eP20-7 急性期脳卒中患者における退院時機能的転帰に関連する因子の検討 田鍋 拓也(健和会大手町病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 **e-Poster21** 脳損傷バランス2

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:大谷 啓尊(神戸国際大学)

- eP21-1 小脳梗塞を呈した症例に対し前庭小脳からめまいやふらつきの軽減を図った一例 中 達矢 (医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院リハビリテーション科)
- eP21-2 延髄外側梗塞後症例に対する外来リハビリテーションでの前庭リハビリテーションの試み:症例報告

島崎 駿平(横浜なみきリハビリテーション病院リハビリテーション科)

- eP21-3 脳卒中者における自宅退院後の転倒に関する調査 -ケースシリーズによる検証-中村 学(済生会東神奈川リハビリテーション病院セラピスト部)
- eP21-4 視床外側腹側核周囲梗塞により小脳性認知情動症候群が残存した症例の転倒要因 田中 葵 (脳神経リハビリ北大路病院リハビリテーション部)
- eP21-5 長期臥床の経過を有する脳卒中片麻痺症例に対する立位姿勢調節能の改善に向けた介入 の試み

坂下 大空(摂南総合病院リハビリテーション科)

eP21-6 Mini-BESTest Keyformに基づくバランス練習が転倒頻度の減少に寄与した視床出血患者の理学療法実践

水木 裕介 (IMS 〈イムス〉グループイムス札幌リハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP21-7 くも膜下出血後のTerson症候群で視覚機能低下を呈した症例-感覚代償戦略と視覚回復 後の主観的変化-

村松 永陽 (脳神経リハビリ北大路病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 10時50分~11時50分 e-Poster22

脳損傷急性期3

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長: 古賀 達也 (筑波記念病院)

- eP22-1 急性期脳卒中患者における身体活動量は3カ月後機能転帰と関連する 山木 健司 (愛仁会リハビリテーション病院リハ技術部)
- eP22-2 尾状核梗塞後に生じた舞踏運動が遷延し歩行に介助を要した症例に対する下肢装具を用いた歩行練習とその経過

門脇 敬(大崎市民病院リハビリテーション部)

- eP22-3 くも膜下出血における脳血管攣縮期での早期リハビリテーションが有効だった一症例 泉野 直紀(富山県立中央病院リハビリテーション科)
- eP22-4 脳幹海綿状血管腫により姿勢定位に難渋した症例 ─長下肢装具の有効性について─ 藻川 真帆 (東戸塚記念病院リハビリテーション科)
- eP22-5 亜急性期脳卒中患者におけるリーチ動作時の代償運動と回復過程 關口 佳弘 (黒沢病院診療部リハビリテーション科)
- eP22-6 有酸素運動後の眼球運動練習により複視が改善したMLF症候群の1症例 舟橋 圭佑 (富山県立中央病院リハビリテーション科)
- eP22-7 脳卒中患者の起立開始日から発症7日までのリハビリテーション実施量が日常生活動作能力に与える影響

武藤 健人 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院リハビリテーション科部)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 **e-Poster23**

脳損傷バランス3

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:山本 敏雄(社会医療法人誠光会淡海医療センター)

- eP23-1 脳卒中患者における視覚遮断および回復が立位姿勢制御に与える影響 福本 匠吾 (JCHO星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)
- eP23-2 左延髄及び両側小脳梗塞に伴うBody Lateropulsion症例の歩行開始時の姿勢制御特性 小松 紘佳 (済生会東神奈川リハビリテーション病院セラピスト部)
- eP23-3 重度失語症を伴う脳卒中片麻痺症例に Berg Balance Scale Keyformを活用した理学療法の実践 -症例報告-

尾崎 史昌 (倉敷紀念病院リハビリテーション部)

- eP23-4 免荷式歩行器を使用し短期間で姿勢制御戦略が変化した左視床出血の一例 楠原 駿平(十条武田リハビリテーション病院リハビリテーション科)
- eP23-5 視床VL核損傷によりFF機能低下を呈した症例-Mini-BESTestの予測的姿勢制御トレーニングの効果-

佐藤 健太 (脳神経リハビリ北大路病院リハビリテーション部)

eP23-6 小脳・脳幹病変の脳卒中発症後に軽度の運動失調を呈する患者の座位および立位の定量 的評価の有用性の検証

新本 直哉 (札幌渓仁会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP23-7 重度感覚障害患者において、体圧測定器による視覚フィードバックにより座位バランス能力に改善を認めた症例

永尾 悠(島根大学医学部附属病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 **e-Poster24** 神経筋疾患生活期

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:加藤 直樹(大阪大学医学部附属病院)

eP24-1 外来パーキンソン病患者において、笑顔トレーニングにより抑うつ症状の軽減と行動変容が観察された一例

原田 夢叶 (医療法人北祐会北海道脳神経内科病院リハビリテーション部)

eP24-2 家族参加型ホームエクササイズがパーキンソン病外来患者2例のQOLに与えた影響:ABシングルケースデザイン

石坂 美波(札幌パーキンソンMS神経内科クリニックリハビリテーション科)

eP24-3 重度多発性硬化症に対しリカンベントエルゴメーターを用いた筋力増強練習が筋力・ ADL改善に寄与した一例

内藤 正喜 (鶴巻温泉病院リハビリテーション部)

- eP24-4 在宅人工呼吸器使用者に対する多職種協働の個別避難計画構築と災害時対応演習の実践 近藤 晃永 (社会医療法人財団慈泉会相澤病院訪問リハビリテーションセンター)
- eP24-5 封入体筋炎に対する運動負荷量の設定と筋力の推移について検討した一症例 第2報 萩岡 裕柾(岡波総合病院リハビリテーション科)
- eP24-6 Internal focus of attention教示により, 歩行能力, バランスに改善を認めた脊髄小脳変性症の1例.

青木 貴志 (長野松代総合病院附属若穂病院リハビリテーション部)

eP24-7 神経筋疾患患者の価値観を基盤とした目標再設定に関する一考察 ~Three-Goal Modelの枠組みを用いて~

伊藤 健太 (北斗わかば病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 e-Poster25

神経筋疾患その他

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長: 坂本 和則 (千葉大学医学部附属病院)

- eP25-1 緑茶摂取が地域在住高齢パーキンソン病患者の非運動症状に及ぼす影響 榊間 春利 (鹿児島大学医学部保健学科)
- eP25-2 片側下肢のジストニアを有するパーキンソン病者に対する遠隔トレーニング支援にて歩 行が改善した1事例

山口 祐弥 (株式会社Smile SpacePDitスタジオ)

- eP25-3 1年を超える経過で自宅退院に至った高齢重症ギラン・バレー症候群再発例の臨床経過 上野 昇矢(兵庫県立丹波医療センターリハビリテーション部)
- eP25-4 Retinal vasculopathy with cerebral leukoencephalopathy (RVCL) と診断された 症例に対する理学療法経験

林 雄李(九州大学病院リハビリテーション部)

eP25-5 パーキンソン病の姿勢異常に対し、頭部座標系を基準とした姿勢練習により身体座標系偏倚の改善を認めた一例

太田 経介 (北海道脳神経内科病院リハビリテーション部)

- eP25-6 パーキンソン病患者に対するtDCSの持続的治療効果の検証 松島千太郎(富山大学附属病院リハビリテーション部)
- eP25-7 パーキンソン病患者におけるL-ドパ血中濃度と主観的評価の関連性の検討 古川 晃大(国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 **e-Poster26** 神経筋疾患回復期•生活期

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:菊本 東陽(埼玉県立大学)

eP26-1 回復期リハビリテーション病院における亜急性期連合性脊髄変性症患者4例の日常生活動作の経過

原井 瑛広 (赤羽リハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP26-2 バランス機能と運動耐容能が向上し歩行獲得に至った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 一症例

小日向 朗(いちはら病院リハビリテーション療法科)

- eP26-3 側方移乗動作の獲得を目指した重度Guillain-Barré症候群の一症例 西浦 理悟(石川病院リハビリテーション部)
- eP26-4 肺炎加療後に廃用症候群を呈した球脊髄性筋萎縮症患者に対する高強度運動の効果と安全性:症例報告

有明 陽佑 (国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

eP26-5 大腿骨頸部骨折後にギラン・バレー症候群と胆嚢炎を合併した一症例 内嶺 菜未(ちゅうざん病院リハビリテーション療法部)

- eP26-6 当クリニックにおけるパーキンソン病患者会の立ち上げと取り組みに関する報告 小田 弘毅(つだ内科・脳神経内科リハビリテーション科)
- eP26-7 筋萎縮性側索硬化症者に対する免荷式歩行リフト導入の意義: 気管切開下人工換気下に おける歩行再開の一症例

芝崎 伸彦 (狭山神経内科病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 ポスター1-1 神経筋疾患の多角的なアプローチ

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:加藤 太郎 (国立精神・神経医療研究センター病院)

佐藤 和命 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

P1-1-1 骨折後疼痛モデルマウスに対する受動的身体運動の疼痛軽減効果と内因性オピオイド系への作用

加藤 竜馬 (京都大学大学院人間健康科学系専攻先端理学療法学講座)

- P1-1-2 パーキンソン病患者における複数回転倒に関連する因子 重症度による違いの検討 田富 裕嗣(字多野病院リハビリテーション科)
- P1-1-3 パーキンソン病における疼痛抑制機構の変調: Conditioned pain modulationによる病態層別の試み

前田 創(兵庫県立リハビリテーション中央病院リハビリ療法部)

P1-1-4 北海道道南地域在住のパーキンソン病患者における社会参加の阻害因子~アンケートを 用いて~

工藤 雄太 (函館市医師会病院リハビリテーション課)

P1-1-5 パーキンソン病の疲労に対する介入効果: Systematic review & network metaanalysis

浦 慎太朗 (医学研究所北野病院リハビリテーション科)

清田 貴之 (関西医科大学総合医療センターリハビリテーション科)

P1-1-7 意欲低下を呈した亜急性連合性脊髄変性症症例への介入経験

佐伯 摂理(摂南総合病院リハビリテーション科)

P1-1-8 11年間にわたってリハビリテーション医療を実施した脊髄小脳変性症患者における経過の特徴について

田邉 憲二 (社会医療法人大道会森之宮病院リハビリテーション部)

P1-1-9 筋萎縮性側索硬化症者を担当する理学療法士における多職種連携の実態と今後の連携 ニーズに関する調査

芝﨑 伸彦 (狭山神経内科病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 ポスター1-2

脳機能と運動学習

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:松尾 篤(畿央大学)

高田 勇 (加賀市医療センター)

P1-2-1 高齢者の関節間協調性向上を目的としたVirtual Reality環境下における段差跨ぎ動作練習

石井 利樹 (東京都立大学人間健康科学研究科)

P1-2-2 手指の自己制御運動が運動感覚脳活動に及ぼす影響:能動制御条件と受動制御条件の比較

門脇 冴奈 (京都橘大学健康科学部理学療法学科)

P1-2-3 学習段階に応じた有効なフィードバックの検討-Knowledge of resultsとKnowledge of performance付与による検証-

多田 千紘 (東京都済生会中央病院リハビリテーション技術科)

- **P1-2-4 Virtual Realityを使用した運動イメージ・練習動作における学習効果の検討 竹内** 響 (小金井リハビリテーション病院リハビリテーション科)
- P1-2-5 前十字靭帯損傷例における患側・健側ステップ動作準備期の脳活動特性―準備電位と脳機能画像解析による検討―

前田 康太 (京都橘大学大学院健康科学研究科)

P1-2-6 定常負荷での持続的運動による脳血流の変化

岡本 璃子 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

- P1-2-7 自転車エルゴメータ駆動における認知課題の加重が脳血流動態に及ぼす影響 沼里 夏帆 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)
- P1-2-8 若年者における抑制課題時の脳波事象関連電位の特徴 北山 楓河 (京都橘大学健康科学部理学療法学科)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 ポスター1-3

神経筋疾患測定•評価1

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:有明 陽佑(国立精神・神経医療研究センター) **出澤真乃介**(アール医療専門職大学)

- P1-3-1パーキンソン病患者へのCAVを用いた肢節間協調性の解析による課題歩行の定量的特徴秋元恵理 (順和会山王病院リハビリテーションセンター)
- P1-3-2 パーキンソン病患者の姿勢変化にスマートフォンを用いた研究―予備的研究―早乙女雄紀(株式会社Smile SpacePDitスタジオ銀座)
- P1-3-3 広範性横断性脊髄炎の重症例における5か月間の機能経過―バランス・歩行能力、ADLを 追跡した一症例―

木村 駿介 (つくばセントラル病院総合リハビリテーションセンター)

P1-3-4 パーキンソン病者の姿勢異常と主観的視覚的垂直の関連性:理学療法介入後の過剰修正を示した症例報告

中柴 淳 (国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

P1-3-5 背臥位で評価した体幹筋機能と呼吸機能の関係性は座位での結果と異なるか? 平野 ノア (北海道せき損センター中央リハビリテーション部)

P1-3-6 階段昇降動作に着目した球脊髄性筋萎縮症の一症例

荒木 貴光 (国立病院機構敦賀医療センターリハビリテーション科)

P1-3-7 重心動揺リアルタイムフィードバックを用いたパーキンソン病患者の立位姿勢制御への 調整的介入

後村 圭太 (札幌パーキンソンMS神経内科クリニックリハビリテーション室)

P1-3-8 パーキンソン病者の歩行中の肩関節および股関節の個人差に関する研究 小川 順也 (株式会社Smile SpacePDitスタジオ銀座本店)

P1-3-9 進行期パーキンソン病患者における足こぎ車椅子の有用性検証:手動車いすとの走行持続性・駆動効率の比較

金藏満百合(畿央大学大学院健康科学研究科)

P1-3-10 視神経脊髄炎における超音波画像診断装置を用いた大腿直筋、中間広筋の筋厚・筋輝度の 評価

廣田 直也(大阪鉄道病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 ポスター1-4 神経筋疾患測定・評価2

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:大田尾 浩(西九州大学)

二階堂泰隆(大阪医科薬科大学病院)

P1-4-1 パーキンソン病における小字症と運動制御の認識の関係

濵田 裕幸 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

P1-4-2 パーキンソン病者におけるL-ドパ血中濃度変化を鋭敏に反映する運動機能評価指標の同定

近藤 夕騎(関東学院大学理工学部)

P1-4-3 パーキンソン病患者の重要視すべき基本動作障害の検討 - 質問紙調査による困難感と不安感の実態について -

中山 智晴 (須崎くろしお病院リハビリテーション部)

P1-4-4 パーキンソン病患者の立位姿勢制御の特徴分析―足圧中心・関節角度・筋活動データを用いた包括的多変量解析―

藤井慎太郎 (西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-4-5 パーキンソン病患者における運動機能別の関連因子の検討

有田 昂平 (愛知医科大学病院リハビリテーション部)

P1-4-6 脊髄小脳変性症者の歩行特性とSARA重症度の関連: 非線形モデリングに基づく考察 尾澤 勇海 (国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部) P1-4-7 脊髄小脳変性症患者の立位姿勢の特徴分析 - 静止立位時の足圧中心より得た変数群 に対する包括的多変量解析 -

坂野 康介 (北海道脳神経内科病院リハビリテーション部)

P1-4-8 脊髄小脳変性症患者における静的立位中の神経筋制御と重心動揺の時間的関係 田邊 裕斗 (脳血管研究所美原記念病院神経難病リハビリテーション課)

P1-4-9 脊髄小脳変性症患者における主観的ふらつき感と重心動揺指標の関連性 奥田 悠太 (脳血管研究所美原記念病院神経難病リハビリテーション課)

P1-4-10 静止立位時の重心動揺変数を用いた包括的多変量解析 ―各種神経疾患を対象とした横断的分析―

武田 賢太 (日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 ポスター1-5

高次脳機能不全

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:松岡 廣典(平成の森・川島病院)

外舘 洸平 (函館市医師会看護・リハビリテーション学院)

P1-5-1 pusher現象および麻痺側股関節の過度な内転により歩行の介助量が増大していた症例に対する介入

水村 真唯(世田谷記念病院リハビリテーション部)

P1-5-2 脳卒中患者の衝動性眼球運動と注意機能との関係

中村 和 (順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座)

- P1-5-3 呼吸機能と注意機能に課題を有する高齢右視床出血例の歩行再獲得に向けた介入 青木 皆人(千里リハビリテーション病院セラピー部)
- P1-5-4 Body Lateropulsionにおける足圧中心動態の方向性と不安定性: 健常高齢者との比較解析

松尾 英明(福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)

P1-5-5 注意ネットワークの結合特性に基づく潜在性半側空間無視の探索的分類 玉利 誠(令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科)

P1-5-6 前大脳動脈領域脳出血により間欠性運動開始困難を呈し、外的刺激による運動再開を試みた一症例

な 公佑(浅ノ川総合病院リハビリテーションセンター)

P1-5-7 歩行補助ロボットを用いた課題単純化と注意焦点化が奏功した重度高次脳機能低下患者の一症例

平野 倫 (東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-5-8 脳卒中患者におけるFrontal Assessment Batteryの得点分布の構造的類似性と身体機能との関連

酒井 克也 (東京都立大学人間健康科学研究科)

P1-5-9 視線安定化練習がBody Lateropulsionを呈した症例の主観的視性垂直位と歩行能力に 及ぼす影響の縦断的評価

佐々木祐希 (済生会東神奈川リハビリテーション病院セラピスト部)

P1-5-10 認知機能低下を伴う脳卒中症例に対する長下肢装具を使用した歩行時の筋活動の経時的 変化

福岡 宏之 (竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 ポスター1-6 脳損傷予後予測

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:橋本 直之 (金沢大学附属病院)

澤島 佑規 (偕行会リハビリテーション病院)

- P1-6-1 手術を受けた脳腫瘍患者のPASSスコアを用いた退院時歩行能力の早期予測 石田 直也 (大阪医科薬科大学病院リハビリテーション科)
- P1-6-2 脳腫瘍術後患者の在院日数に影響を及ぼす理学療法評価因子の検討 坂本 和則 (千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部)
- P1-6-3 皮質網様体路の損傷量が脳出血患者の運動機能予後へ与える影響 伊藤 直城 (千里リハビリテーション病院セラピー部)
- P1-6-4 回復期脳出血患者における脳画像と機能予後との関係 後藤 健一 (第二成田記念病院リハビリテーション室)
- P1-6-5 歩行獲得困難と予測された脳卒中患者における歩行自立度別の入院中経過 宮田 裕輔(くみやま岡本病院リハビリテーション部)
- P1-6-6 脳卒中患者の拡散テンソル画像を利用した深部白質線維の経時的変化 〜単一症例によるパイロットスタディ〜
- P1-6-7 高齢脳梗塞患者において離床時の下腿周径は発症6か月後の歩行自立の可否と関連するか

渡邉 良太 (北里大学大学院医療系研究科)

P1-6-8 脳出血と脳梗塞症例における機能予後と回復過程の違い 池田 法子 (金沢医科大学病院リハビリテーションセンター)

井上 颯馬 (JA愛知厚生連海南病院リハビリテーション室)

P1-6-9 重度の下肢運動機能低下を呈した視床出血患者における歩行自立の可否に関与する因子 及び特徴について

川上 翔三 (熊本託麻台リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-6-10 脳卒中発症後に重度の心疾患が判明した多疾患・重複障害患者に対する心臓外科術後理 学療法経験

五月女宗史(宇都宮記念病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 ポスター1-7

脊髄損傷装具・ロボット・物理療法

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長: **岡野** 生也 (兵庫県立リハビリテーション西播磨病院)

鳥山 貴大(相澤病院)

P1-7-1 脊髄腫瘍による不全対麻痺患者2症例に対するロボット歩行トレーニングの臨床経過:症 例報告

居橋 拳児(札幌麻生脳神経外科病院リハビリテーション部)

P1-7-2 コンピューター制御長下肢装具を処方された生活期腰髄損傷者に対する外来理学療法の 経験

木内 隆裕 (森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)

P1-7-3 下位胸髄近傍髄内出血による感覚性運動失調に対し、歩行補助ロボットを使用し歩行能力向上が見られた一症例

内海 直也 (浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-7-4 脊髄腫瘍による足関節機能低下に対し末梢磁気刺激および単関節HALを用いたリハビリテーションを行った一例

岡本 善敬 (筑波大学附属病院リハビリテーション部)

- P1-7-5 慢性期脊髄損傷患者に対する歩行学習支援装置の即時的効果の検証:症例報告 永田 将之 (中東遠総合医療センターリハビリテーション室)
- P1-7-6 頚椎症術前後の異なる機序のしびれに対してしびれ同調経皮的電気神経刺激が即時的・ 持続的に奏功した一事例

栗田 爽史(医療法人桜丘会水戸ブレインハートセンター医療技術部リハビリテーション科)

P1-7-7 頸髄腫瘍による不全麻痺症例に対するベルト電極式骨格筋電気刺激法の筋力および歩行能力への影響

鈴木 雄大 (千葉西総合病院リハビリテーション室)

P1-7-8 Flexed Knee Gait (FKG) に対する機能的電気刺激療法 (Functional Electrical Stimulation: FES) の効果

打田 昂志 (横浜新都市脳神経外科病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 ポスター1-8

脳損傷歩行1

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:乾 康浩(奈良県総合リハビリテーションセンター)

中條 雄太 (関西医科大学)

P1-8-1 くも膜下出血発症後、脳血管攣縮期に脳梗塞を併発し予後不良と予測した患者が屋内監視歩行獲得に至った症例

赫 奈々海(京都リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-8-2 脳卒中片麻痺患者の装具の自由度調整による歩行学習への影響 - シングルケースABA法による検討 -

宮崎 定秀 (西宮協立リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-8-3 視床出血後脳卒中患者の介入方法や活動状況変化における歩行と筋活動の経時的分析を 行った一症例

山本 大貴(協和会病院理学療法科)

P1-8-4 転倒恐怖感が強く、独歩獲得に難渋した左小脳出血後の一例 ~応用行動分析学に基づく 介入~

野島 **丰祐**(JCHO金沢病院リハビリテーション科)

P1-8-5 脳血管性パーキンソニズムに対する外発性随意運動の効果 小西 智己 (篠田総合病院リハビリセンター)

P1-8-6 杖の種類の違いによる歩容・筋活動の変化について ~Paracaneの使用により歩行速度が改善した一例~

渡邊 大志 (善常会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

- P1-8-7 脳卒中片麻痺者における体重免荷トレッドミル歩行が歩行対称性に与える影響 橋本 隆哉 (熊本リハビリテーション病院リハビリテーション部理学療法科)
- P1-8-8 脳画像からの予後予測を根拠に、長下肢装具を早期活用し歩行再建を目指した右被殻出血による重度麻痺例

上辻 大樹 (脳神経リハビリ北大路病院リハビリテーション部)

P1-8-9 Extension Thrust Patternを呈した脳卒中患者に対し短下肢装具と踵補高の併用が有効であった一症例

澤井 啓耀 (畿内会岡波総合病院リハビリテーション科)

P1-8-10 慢性期脳卒中患者の歩行能力に対する運動観察療法と電気刺激療法の併用効果 - シングルケーススタディー

田村 正樹 (岡山医療専門職大学健康科学部理学療法学科)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 ポスター1-9

脊髓損傷歩行

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:吉川 憲一(茨城県立医療大学付属病院)

長谷川隆史(名古屋葵大学)

P1-9-1 頚椎症性脊髄症により運動失調を呈した症例に対し歩行能力改善を目的とした全身振動 刺激の効果

渡邉 光(湖街ホスピタルリハビリテーション科)

P1-9-2 機能的電気刺激と視覚フィードバックの併用により歩行能力に改善を認めた腰部脊柱管 狭窄症患者:症例報告

中川 凱矢(札幌麻生脳神経外科病院リハビリテーション部)

P1-9-3 脊髄損傷患者の異なる歩行条件における主観的・神経生理学的反応の分析:症例報告による検討

熊代 光佑(岸和田リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)

P1-9-4 両足底の荷重感覚鈍麻により歩行獲得に難渋した1例

糟谷 直輝 (社会医療法人財団池友会新小文字病院リハビリテーション科)

P1-9-5 体重免荷装置を用いた歩行練習が奏功した頚髄損傷の一症例

佐藤 剛志 (学研都市病院リハビリテーション科)

P1-9-6 圧迫性胸髄症に対する術後急性期歩行トレーニングの実施可能性と効果の検討:ケースシリーズ研究

深田 亮 (千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部)

P1-9-7 腫瘍摘出術後に神経学的増悪を認めた頚髄髄内腫瘍患者に対する エルゴメーターとトレッドミルの効果の検討

桑田麻由子(千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部)

P1-9-8 免荷式歩行リフトでの短期間の歩行練習により座位バランスが改善した四肢不全麻痺症 例

長岡 孝則(日本海総合病院リハビリテーション室)

P1-9-9 歩行分析アプリを用いた回復期軽度片麻痺患者の定量的評価の検討

山本 敏雄 (社会医療法人誠光会淡海医療センターリハビリテーション部)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 ポスター1-10

物理療法•予後予測

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:伊藤 明良(京都大学大学院)

古賀 優之 (川西市立総合医療センター)

P1-10-1 脳卒中片麻痺患者に対する経皮的電気刺激と課題特異的なバランス練習により トイレ動作が自立した一例

粉川 実海 (鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-10-2 短下肢装具移行時にBuckling Knee Patternを認めた脳卒中片麻痺者に対し、EMSを用いて改善を試みた一症例

杉田
昂翼 (筑波中央病院リハビリテーション科)

- P1-10-3 リチウム脳症により体幹失調を呈した患者様に立体動態波を行った一例 渋谷 直矢 (赤羽リハビリテーション病院リハビリテーション科)
- P1-10-4 下肢への電気刺激療法を契機に随意運動の改善を認めた中大脳動脈梗塞患者の一例 鈴木 徹也 (浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- P1-10-5 脳腫瘍術後の下垂足に対する運動療法と機能的電気刺激の短時間併用による身体機能へ の影響:症例報告

小名木良太(彩の国東大宮メディカルセンターリハビリテーション科)

P1-10-6 延髄外側症候群後のlateropulsionに対する経皮的電気刺激と運動療法によりバランス能力が改善した一症例

土屋 晶敬 (鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-10-7 ボツリヌス療法と拡散型体外圧力波療法併用による歩行能力と足関節底屈筋群の痙縮治療効果について

藤原 佑樹 (西宮協立リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-10-8 回復期脳卒中片麻痺患者の下腿三頭筋の痙縮に対する体外衝撃波治療の効果に関連する 因子の検討

溝脇 亮(偕行会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-10-9 再灌流障害例の予後予測困難性と血流画像による評価の意義—1症例を通して— 佐藤 美波 (秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部)

P1-10-10 脳卒中患者の急性期における歩行予後予測因子の検討

橋本 実央 (山口県立総合医療センターリハビリテーション部)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 ポスター1-11 脊髄損傷の評価とアウトカム

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:有地 祐人 (総合せき損センター) **浅井 直樹** (神奈川県立保健福祉大学)

P1-11-1 レスパイト入院を利用している神経難病患者におけるリハビリテーション治療満足度の 実態とその関連因子

井手 歩美 (鶴巻温泉病院リハビリテーション部)

P1-11-2 慢性期脊髄運動完全麻痺患者におけるリハビリテーション介入が地域移動能力におよぼ す影響

島袋 尚紀(国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部再生医療リハビリテーション室)

P1-11-3 脊髄損傷患者の診療情報提供書では疾患特異性のある評価は共有されているか―当院の 過去10年間の調査―

雪岡 昇大 (独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院中央リハビリテーション部)

- P1-11-4 ISNCSCIの認知度把握と普及促進に向けた課題分析のための単施設アンケート調査 宮下 創(森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)
- P1-11-5 脊髄腫瘍摘出術後1週以降にバランス能力の顕著な改善を認めた髄膜種の1症例 加藤 將暉 (虎の門病院分院リハビリテーション部)
- P1-11-6 圧迫性頚髄症術後における歩行評価指標としての10-m walk testとTimed Up and Go testの関連性:縦断的検討

深田 亮 (千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部)

- P1-11-7 MRI画像解析から得られるTissue Bridgeと脊髄損傷後の身体機能および予後との関連 江田 朱里(星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)
- P1-11-8 回復期外傷性脊髄損傷者における受傷時のMultimorbidityが転帰先に及ぼす影響中尾 修平(星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)
- P1-11-9 回復期リハビリテーション病棟における頚髄損傷不全四肢麻痺者のFIM運動項目に基づ く重症度分類

佐藤 弘樹 (岩手県立中央病院リハビリテーション技術科)

10月31日(金) 14時00分~15時00分 ポスター1-12

装具・ロボット1

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:中野 克己(日本保健医療大学)

佐藤佑太郎 (新さっぽろ脳神経外科病院)

P1-12-1 当院における装具療法に関する調査 - 現状の把握と今後の展望 -

田中 孝樹 (サンテ溝上病院リハビリテーション科)

P1-12-2 当院回復期病棟における脳卒中後の患者の下肢装具処方に至りにくい実態の把握 -アンケート調査-

安次富一樹 (大道中央病院リハビリテーション部)

P1-12-3 脳卒中片麻痺における短下肢装具の水平軸を再考した一症例

髙橋 忠志 (東京都立荏原病院リハビリテーション科)

P1-12-4 急性期病院に併設された回復期病棟における歩行再建 ―処方長下肢装具を導入して何が変わったか―

安部 陽子 (社会医療法人医翔会札幌白石記念病院リハビリテーション技術室)

P1-12-5 中等度片麻痺患者に対する金属支柱長下肢装具を使用した歩行練習が歩行速度に与える 影響

植松 凌斗 (横浜新都市脳神経外科病院リハビリテーション科理学療法部)

P1-12-6 回復期脳卒中患者における長下肢装具(KAFO)の使用が歩行能力(FAC)およびADLに与える影響

小林 直書 (イムス佐原リハビリテーション病院リハビリテーション科)

P1-12-7 歩行支援ロボット使用による歩行速度変化量の差に関連する因子の検討

横田 航 (群馬リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P1-12-8 外骨格型ロボットを併用したことで分回し歩行の改善に至った症例

神本 拓未 (尼崎だいもつ病院リハ技術部)

P1-12-9 重度脳卒中患者の歩行トレーニングー歩行学習支援ロボットの活用ー

松下 純平 (釧路孝仁会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 15時10分~16時10分 ポスター1-13

脊髄損傷への多角的アプローチ

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:藤縄 光留(神奈川リハビリテーション病院)

大川原洋樹(慶応義塾大学)

P1-13-1 外傷性脊髄損傷患者に対する免荷期間から下肢運動を行い、自己骨髄間葉系幹細胞静脈 内投与を併用した1症例

遠川 敬輔(東京労災病院中央リハビリテーション部)

P1-13-2 ASIA Impairment Scale C症例における随意肛門収縮と神経学的回復の関連

古賀降一郎(総合せき損センター中央リハビリテーション部)

P1-13-3 高齢頚髄損傷者における離床初期の身体活動量の可視化の試み簡易的な身体活動分類/ AC分類を用いた症例報告

森田 沙歌 (医学研究所北野病院リハビリテーション科)

P1-13-4 脊髄損傷専門施設への早期入院が外傷性頚髄損傷患者の予後に与える影響: ASIA機能障害尺度別の後方視的検討

有地 祐人 (総合せき損センター中央リハビリテーション部)

- P1-13-5外傷性脊髄損傷における病型分類の試み: Multimorbidityを基盤としたクラスター分析佐藤剛介(奈良県総合医療センターリハビリテーション部)
- P1-13-6 異なる歩行形態への筋電図による筋活動評価が歩行練習方法選択の一助になった第7頸 髄不全損傷の一例

斉藤 誠実(五井病院リハビリテーション科)

P1-13-7 競技者を対象とした頚髄損傷高位別リハビリテーション到達目標水準の客観的再検証 一報告 II —

浅井 直樹(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)

P1-13-8 外傷性脊髄損傷者の予後予測と実際の回復状況との乖離 -多機関症例検討会を通した「答え合わせ」-

山田 依遠 (岐阜県立多治見病院リハビリテーション科)

10月31日(金) 16時20分~17時20分 ポスター1-14 疾患別リハビリテーションと地域連携

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:田中 秀明(恵寿総合病院) 山内 康太(製鉄記念八幡病院)

P1-14-1 ホスレボドパ・カルビドパ水和物導入症例に対する理学療法介入の経験 武島 輝大 (医療法人徳洲会湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション部)

P1-14-2 発症後5カ月の傍腫瘍性小脳変性症患者に対し、体組成評価を基に運動療法を行い、ADL 改善に至った一例

世傳 智貴(日本生命病院リハビリテーション室)

P1-14-3 抗中性糖脂質抗体陽性脳脊髄炎及び多発神経炎を呈した患者に対するBWSTTが歩行能力に及ぼす効果

倉持 直人(JAとりで総合医療センターリハビリテーション部)

- **P1-14-4** 本邦における脳卒中リハビリテーションの目標設定に関する病期間別アンケート調査 佐藤 一成 (北海道医療大学リハビリテーション科学部)
- P1-14-5 島根県の神経理学療法における組織体制構築と活動実績 佐々木翔太(一般社団法人島根県理学療法士会)
- P1-14-6 認知機能低下を有する高齢顔面神経麻痺患者に対する地域連携リハビリテーションの有効性

大峽 崇之(相澤病院脳卒中脳神経リハ科)

P1-14-7 外来リハビリテーションを実施した末梢性顔面神経麻痺患者の機能的転帰に関する後方 視的検討

壹岐 伸弥 (川口脳神経外科リハビリクリニックリハビリテーション科)

P1-14-8 脳血管疾患リハビリテーション処方の地域差と認定・専門理学療法士数との関連 野路 慶明 (東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科)

10月31日(金) 17時30分~18時30分 ポスター1-15 姿勢制御と感覚統合

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:宮下 崇(福井赤十字病院) **犬飼 康人**(新潟医療福祉大学)

P1-15-1 脳卒中片麻痺者における床上動作評価:転倒歴の有無による比較 北山 哲也(森山脳神経センター病院リハビリテーション科)

P1-15-2 環境や課題の違いが視覚遮断下における姿勢制御に及ぼす影響 伊藤 智崇 (川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科)

- P1-15-3 ヒトの静止立位中の腰部動揺の随意的制御が足圧中心および身体重心動揺に及ぼす影響 菅沼 惇一 (中部学院大学看護リハビリテーション学部理学療法学科)
- P1-15-4 体性感覚トレーニングがバランスおよび歩行能力に与える効果の検証:単一症例デザインによる2例の分析

袴田 友樹(葛西中央病院リハビリテーション科)

- P1-15-5 VR視覚刺激と認知課題が姿勢制御へ及ぼす干渉作用 臼井 優月 (相澤病院リハビリテーションセンター内部疾患リハ科)
- P1-15-6 Vectionを用いた介入の即時効果に影響を及ぼす姿勢制御の個人特性 -健常者を対象に した予備的研究-

矢田 拓也(東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域)

P1-15-7 フォースプレートと頭部慣性センサ計測に基づく立位の足関節・股関節戦略の定量的評価

園部 元康(高知工科大学システム工学群)

P1-15-8 前十字靭帯再建術後患者の片脚立位バランスにおける視覚依存度の経時的変化 島本 大輔 (西宮回生病院リハビリテーション部)

10月31日(金) 12時50分~13時50分 ポスター1-16

脳損傷測定·評価

第13会場ポスター会場④(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:北山 哲也 (森山脳神経センター病院)

佐藤 惇史 (医療創生大学)

P1-16-1 脳卒中患者の入院時下腿周囲径と日常生活動作改善との関連

花城 範行(宜野湾記念病院リハビリテーション部)

- P1-16-2 脳損傷者における運転再開と体幹機能の関連 —Trunk Control Testを用いた検討—神戸 凌太 (JA長野厚生連長野松代総合病院リハビリテーション科)
- P1-16-3 脳卒中片麻痺患者における反復練習及び電気刺激後の筋弛緩制御の変容に関する検討 松本 仁美(住友病院リハビリテーション科)
- P1-16-4 急性期病院入院中のFrailty Indexの変化と回復期脳卒中者のADL改善との関係 能谷 聡(六甲アイランド甲南病院リハビリテーション部)
- P1-16-5 脳卒中後患者の起立-着座動作の長時間モニタリング 倉山 太一 (植草学園大学保健医療学部)
- P1-16-6 脳卒中片麻痺者における歩行変動性指標を用いた自立歩行の判別精度算出と検証 吉川 大志 (汐田総合病院リハビリテーション課)
- **P1-16-7** 車椅子移動レベルの脳卒中患者における移乗・トイレ動作に関するBerg Balance Scale のカットオフ値の検討

齋藤 祐希 (弘前脳卒中・リハビリテーションセンター理学療法室)

- P1-16-8 脳卒中患者におけるボツリヌス製剤反復投与の有効性に関する検証 澤井 美佳 (MIRAI病院リハビリテーション部)
- P1-16-9Virtual Realityを用いた主観的視覚垂直の評価の試み ~異なる背景が視覚的垂直に与える影響について~久保田勝徳(桜+字福岡病院リハビリテーション部)
- P1-16-10 経頭蓋磁気刺激による運動誘発電位と脳波は自転車エルゴメーター運動後に、異なる神経修飾作用を生じる

岡本 彬(にしくまもと病院サービス付き高齢者向け住宅(特定施設)ホスピタウンハウス)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 共催シンポジウム3

オンデマンド配信あり

最適な地域生活支援にむけたシームレスな理学療法システムの構築

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長:安倍 恭子(済生会山形済生病院)

内山 圭太 (金沢赤十字病院リハビリテーション科部)

シームレスな理学療法システムの構築における実践知とエビデンスの融合

大垣 昌之 (社会医療法人愛仁会尼崎だいもつ病院)

神経疾患患者・利用者の意思決定に基づいた理学療法支援体制

知花 朝恒 (川口脳神経外科リハビリクリニック)

自治体との連携の実際と課題-石川県小松市との協働-

霜下 和他 (特定医療法人社団勝木会芦城クリニック)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 基幹セミナー2

オンデマンド配信あり

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

司会:奥埜 博之(奈良東病院リハビリテーション科)

臨床意思決定と行動経済学 -リハビリテーション臨床現場での応用に向けて

吉田 沙蘭 (東北大学大学院教育学研究科教育心理学講座臨床心理学分野)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 特別講演3

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

司会: 冨田 秀仁 (豊橋創造大学大学院健康科学研究科)

発達過程におけるSensory weightingの根拠と反証

板谷 厚(北海道教育大学旭川校保健体育教育専攻)

11月1日(土) 12時30分~13時10分 ランチョンセミナー4

脳可塑性に基づく上肢回復とBrain Machine Interface ―ネットワーク再編の理解から臨床実践へ―

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長:玉利 誠(令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科)

脳卒中後の回復における脳内メカニズムの理解と脳可塑性を誘導する神経リハビリテーション戦略

大瀧 亮二 (東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科)

Brain Machine Interface治療の実際~効果・作用機序・療法士の役割~

奥山 航平 (慶應義塾大学病院ニューロモデュレーションセンター)

共催:株式会社LIFESCAPES

11月1日(土) 13時20分~14時50分 **基幹シンポジウム2**

オンデマンド配信あり

研究のためのエビデンスブラッシュアップ - 根拠を創出・反証するための手法とその実践

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長: 上原信太郎 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

富田 洋介 (高崎健康福祉大学保健医療学部)

神経理学療法学分野の疫学研究における因果推論: 反証と再考

池田 登顕 (山形大学医学部医療政策学講座)

神経科学的視点からの根拠の創出と反証

山口 智史(京都大学医学部人間健康科学科)

尺度研究における開発と検証—MIC推定研究を中心に

宫田 一弘 (茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科)

禁忌から標準治療へ:循環器治療の歴史的転換に学ぶ

神谷健太郎 (北里大学医療衛生学部)

11月1日(土) 15時00分~16時00分 クロージング シンポジウム

第1会場(石川県立音楽堂 コンサートホール)

座長:野添 匡史 (兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科) 久保田雅史 (金沢大学医薬保健研究域保健学系理学療法科学講座)

上原信太郎 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

内藤 善規 (豊橋市民病院リハビリテーションセンター)

関口 雄介 (東北大学研究推進支援機構リサーチマネジメントセンター)

徳田 和宏 (阪和記念病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 **公募型シンポジウム5** 歩行の神経系原理と脳卒中片麻痺者の歩行トレーニング戦略

オンデマンド配信あり

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

オーガナイザー:金子 文成 (東京都立大学人間健康科学研究科) 上原信太郎 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科)

脊髄神経を中心とした歩行の神経系原理

金子 文成 (東京都立大学人間健康科学研究科)

臨床で提供される歩行トレーニングの様式の選択が筋活動に与える影響

阿部 浩明(福島県立医科大学保健科学部)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 **公募型シンポジウム6**

オンデマンド配信あり

コンピューター制御長下肢装具が切り開く次世代の神経理学療法~歩行を治す、そして支える専門職として~

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

オーガナイザー:猪村 剛史(広島大学大学院医系科学研究科)

コンピューター制御長下肢装具が変える歩行トレーニングと歩行支援の姿

猪村 剛史(広島大学大学院医系科学研究科)

コンピューター制御長下肢装具を用いた歩行トレーニングの実践とその課題

増田 知子(千里リハビリテーション病院)

義肢装具士からみたコンピューター制御長下肢装具の可能性(仮)

福間 雄士 (株式会社みうら義肢製作所)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 **公募型シンポジウム7**

オンデマンド配信あり

脊髄損傷者における活動量向上の意義と課題:臨床実践と計測手法の現状

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

オーガナイザー:佐藤 剛介 (奈良県総合医療センターリハビリテーション部)

脊髄損傷者における活動性増加の意義と課題

佐藤 剛介 (奈良県総合医療センターリハビリテーション部)

急性期病院における早期離床への取り組みと重要性

師岡 祐輔(埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科)

脊髄損傷者の活動量計測の実際

森田 智之 (神奈川県総合リハビリテーションセンター神奈川リハビリテーション病院)

11月1日(土) 12時30分~13時10分 ランチョンセミナー5

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

座長:大住 倫弘(畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター畿央大学大学院健康科学研究科)

非侵襲的な温冷刺激を用いた疼痛の可視化:サーマルグリル錯覚の活用

佐々木 遼 (畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター)

共催:ハプキタス株式会社・千の栞

11月1日(土) 13時20分~14時50分 企画シンポジウム2

オンデマンド配信あり

動物実験への誘い -動物モデルから神経学的事象を理解する

第2会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール)

座長:田中 貴士(神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域)

野嶌 一平 (名古屋市立大学医学部保健医療学科)

動物実験からわかる神経修復を促すリハビリテーション

田中 貴士 (神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域)

非ヒト霊長類モデルを用いたヒトの運動制御機構の理解

窪田 慎治(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所モデル動物開発研究部)

脳損傷からの挑戦:神経回路の再編がもたらす運動機能回復

田尻 直輝 (名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部脳神経生理学)

11月1日(土) 8時10分~8時50分 ブレ

ブレックファストセミナー1

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:久保田雅史(金沢大学医薬保健研究域保健学系理学療法科学講座)

脳からみた脳卒中患者の歩行再建戦略

吉尾 雅春(千里リハビリテーション病院)

共催:株式会社メジカルビュー社

11月1日(土) 9時00分~10時00分

口述16

脳損傷急性期3

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:河尻 博幸(愛知医科大学病院) **谷 拓朗**(昭和医科大学)

O16-1 急性脳卒中後のlateropulsion合併患者に対するReha-Glassesの有効性と安全性の検証: 前向き介入試験

鎌田 将星 (国立循環器病研究センター脳血管リハビリテーション科)

O16-2 急性期脳卒中患者における入院時の栄養状態と早期離床の関連性

中路 一大 (矢木脳神経外科病院リハビリテーション科)

O16-3 脳卒中後のバランス能力低下に対し、視覚的フィードバックによる理学療法の導入で立 位動作が改善した一例

川満 謙太 (株式会社麻生飯塚病院リハビリテーション部)

O16-4 脊髄性・小脳性の運動失調が混在した脳卒中患者に対し、体重免荷式トレッドミル歩行練習が有効であった一例

大岡 郁子 (近江八幡市立総合医療センターリハビリテーション技術科)

O16-5 クラゾセンタン投与がくも膜下出血患者の機能予後に与える影響 - 早期離床の媒介効果への着目 -

竹本雄一郎 (広島市立北部医療センター安佐市民病院リハビリテーション科)

O16-6 急性期脳卒中患者に合併するlateropulsionが歩行自立度に与える影響

堂田 大嗣(国立循環器病研究センター脳血管リハビリテーション科)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 口述17

脳損傷急性期4

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:三木 啓嗣(東京都済生会中央病院)

徳田 和宏 (阪和記念病院)

O17-1 脳卒中患者における回復期リハビリテーション病棟退院時の歩行自立度に関わる早期リ ハビリテーションの因子

畑中 將希 (関西電力病院リハビリテーション部)

O17-2 橋出血による重度感覚機能低下患者に対し急性期より電気刺激療法を併用した理学療法 が有効だった症例

倉持 洸太 (慶應義塾大学病院リハビリテーション科)

- O17-3Latelopulsionを伴うOpalski症候群の一症例 ~急性期における治療介入~村上隼 (八尾徳洲会総合病院リハビリテーション科)
- O17-4 急性期くも膜下出血患者の72時間以内の早期離床と有害事象の関連性について 花岡 雅樹 (彩の国東大宮メディカルセンターリハビリテーション科)
- O17-5 急性期脳梗塞患者の身体機能と動作能力の変化が回復期病院退院時に自宅退院へ繋がる 因子の検討

浜辺 峻弥(昭和医科大学藤が丘病院リハビリテーション室)

O17-6 ウェアラブルNIRSを用いた初期離床時の脳循環動態の検討 ー被殻出血3症例の解析ー 長谷川大輝(福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 英語口述2

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:澤 広太 (SBC東京医療大学) 西原 賢 (埼玉県立大学)

OE2-1 Unilateral spatial neglect-like behavior in right-brain injury animals without sensorimotor disturbance

Atsushi Doi (Kumamoto Health Science University, Graduate School of Health Sciences)

OE2-2 Cerebral Oxygenation Dynamics During Walking in the Vasospasm Period of Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage: An Exploratory Study Using Near-Infrared Spectroscopy (NIRS)

Kenji Oike (Tsuchiurakyodo General Hospital, Rehabilitation)

OE2-3 Immediate Effects of Proprioceptive and Tactile Stimulation on Brain Activation and Functional Performance to Improve Balance during the Eyes Closed Condition: A Comparative Study

Raden Galuh Gurmadi Gandawidura (Tokyo Metropolitan University, Graduate School of Human Health Sciences)

OE2-4 Association Between Regional Cerebral Tissue Oxygen Saturation and Modified Rankin Scale in Patients with Acute Cerebral Infarction

Naoyuki Hashimoto (Kanazawa University Hospital, Section of Rehabilitation)

OE2-5 Enhancing Stroke Gait Rehabilitation With Morning Walk ® Synergistic Effects of Robotic Gait Training and a Soft Exosuit

Sunhee Hwang (Curexo Inc., R&D Center)

11月1日(土) 12時30分~13時10分 ランチョンセミナー6

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:小桑 隆(シュポーン株式会社)

杖による歩行再建 -運動学および運動力学的観点より杖を再考する-

大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

共催:シュポーン株式会社

11月1日(土) 13時20分~14時20分 口述18

脊髄損傷2

第3会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳西)

座長:古関 一則(茨城県立医療大学付属病院)

佐藤 弘樹 (岩手県立中央病院)

O18-1 リハビリテーション時間外の身体活動量に着目した介入が運動機能向上に寄与した回復期脊髄梗塞患者の一例

勝又 滉平 (鶴巻温泉病院リハビリテーション部)

O18-2 脊髄損傷者の自覚的起立性低血圧の時間経過に伴う推移および遷延リスク因子の検討: 横断的全国調査

大川原洋樹 (慶應義塾大学医学部整形外科学教室)

O18-3 競技者を対象とした頚髄損傷高位別リハビリテーション到達目標水準の客観的再検証 —報告 I —

古屋 美紀(神奈川県総合リハビリテーションセンター神奈川リハビリテーション病院理学療法科)

O18-4 しびれ同調経皮的電気刺激がしびれ感と立位バランスに及ぼす即時的・長期的効果:頚椎症性脊髄症の症例研究

海藤公太郎(IMS〈イムス〉横浜東戸塚総合リハビリテーション病院リハビリテーション科)

O18-5 頚髄損傷後手指感覚機能不全者に対する触知覚弁別刺激アプローチの効果検証:多層 ベースライン法を用いて

北井 拳 (京都橘大学大学院健康科学研究科)

O18-6 頚髄不全損傷者における退院時の歩行獲得に影響する因子の探索 – 単施設における後方 視的観察研究—

土井 佑夏(千葉県千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション治療局)

11月1日(土) 8時10分~8時50分

ブレックファストセミナー2

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

脳卒中の臨床症状は運動学で解釈することができる

鈴木 俊明(関西医療大学)

共催:株式会社 運動と医学の出版社

11月1日(土) 9時00分~10時00分

口述19

脳損傷回復期4

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:土井 篤 (熊本保健科学大学)

友田 秀紀 (小倉リハビリテーション病院)

O19-1 回復期の脳血管疾患患者に対する理学療法、作業療法、言語聴覚療法の実施量がADL向上に及ぼす影響

後藤 伸介(やわたメディカルセンターリハビリテーション技師部・科)

- O19-2 回復期リハビリテーション病棟における重度脳卒中患者の自宅退院に必要な因子の検討 金岡 誠治 (医療法人社団和風会橋本病院リハビリテーション部)
- O19-3 脳卒中後の患者における退院時歩行速度に関する要因 儀間 美優(ちゅうざん病院リハビリテーション療法部)
- O19-4 回復期病棟での脳卒中者の身体機能と就労状況の関連性 退院後3ヶ月時点での就労アンケート調査の報告 -

田津原佑介(社会医療法人三車会貴志川リハビリテーション病院リハビリテーション部)

O19-5 脳卒中症例における身体認識誤差は身体活動量と関連するか -回復期を対象とした予備 的調査-

杉田 裕貴(令和リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)

O19-6 脳卒中患者の独居退院を判定する統計的支援モデルの構築

橋本 拓也 (医療法人社団五反田リハビリテーション病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 口述20

脳損傷回復期5

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:大垣 昌之 (尼崎だいもつ病院)

後藤 伸介(やわたメディカルセンター)

O20-1 大脳皮質広範損傷例に対し、体性感覚・前庭迷路の刺激が意識レベルや基本動作の改善に 有効であった一例

山本 庄真(宇野病院リハビリテーション部)

O20-2 回復期病棟における脳血管疾患患者の地域歩行可能な歩行速度獲得予測モデルの開発: 後ろ向き観察研究

田村翔太郎(イムス札幌リハビリテーション病院リハビリテーション科)

- O20-3 回復期脳卒中者における退院時の移動形態と強度別身体活動時間の経時的変化との関連 河田 雄輝 (秋田県立リハビリテーション・精神医療センター機能訓練部)
- O20-4 自立歩行が困難な回復期脳卒中者における入院中の身体活動量の変化特性 吉田 啓志 (千里中央病院リハビリテーション科)
- O20-5 回復期脳卒中患者における退院時フリーハンド歩行自立の判断基準の検討 近藤 諒平(中通リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- O20-6 運動プログラムの異常が疑われ、立位保持が困難な症例 ~多面的な感覚入力でプログラム修正を試みた治療~

豊福 令旺(IMS<イムス>グループイムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 口述21

脳損傷回復期6

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:西川 裕一(金沢大学)

室井 大佑 (千葉県立保健医療大学)

O21-1 脳血管疾患患者における骨格筋量変化とADL改善との関連

阪口 将登 (角谷リハビリテーション病院診療技術部理学療法士科)

O21-2 亜急性期脳卒中患者における異なる複雑歩行路の二重課題方法の比較:転倒リスク評価 としての実行可能性検証

和田 龍哉 (愛仁会リハビリテーション病院リハ技術部)

O21-3 回復期初発脳卒中片麻痺者におけるトレットミル歩行の退院時の歩容 -下肢運動麻痺の 重症度別検討-

小川 浩紀 (藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部)

O21-4 右頭頂葉皮質下出血により高次脳機能障害を呈し、ゴルフ・運転が困難となった症例の経 過報告

内田 貴裕 (リハビリテーション花の舎病院リハビリテーション部)

- O21-5 足関節背屈運動機能の向上から躓きの軽減を目指した脳卒中片麻痺患者の一症例 上坂 望(洛西シミズ病院回復期リハビリテーション科)
- O21-6 体幹機能が良好な脳卒中後の患者における退院時歩行自立にはバランス機能が関連する 古謝 帝(ちゅうざん病院リハビリテーション療法部)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 口述22

高次機能不全

第4会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳中)

座長:藤野 雄次(順天堂大学)

渡辺 学(北里研究所北里大学メディカルセンター)

O22-1 脳卒中後半側空間無視(遠位・近位)の予後に関連する連合線維束:Lesion Quantification Toolkitを用いて

大村 優慈 (湘南医療大学保健医療学部)

- **O22-2** 右前頭葉皮質下出血により第二言語が優位に保たれたトリリンガル失語症例の報告 齋藤 謙二 (大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院リハビリテーション技術部)
- **O22-3** 地域在住高齢者における脳体積の非対称性と注意機能障害の関連性 松田総一郎(国立長寿医療研究センター予防老年学研究部)
- O22-4 脳卒中患者に生じる半側空間無視の予後予測におけるMRIの有用性 〜システマティックレビュー〜

猪村 剛史 (広島大学大学院医系科学研究科リハビリテーション情動科学)

- O22-5 多職種連携を通してせん妄症状の改善がみられたWernicke失語症の1症例 山村 知宙(セコメディック病院リハビリテーション部)
- O22-6 没入型Virtual Realityの評価システムを用いた半側空間無視の有病率と空間特異性の調査

川口俊太朗(苑田会ニューロリハビリテーション病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 8時10分~8時50分

ブレックファストセミナー3

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:岡田 洋平 (畿央大学)

歩行制御の意識と無意識 -パーキンソン病の歩行障害とリハロボットの可能性-

大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

共催:オージー技研株式会社

11月1日(土) 9時00分~10時00分 スキルアップレクチャー6

オンデマンド配信あり

複雑化する神経難病に対する多面的アプローチ

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:石黒 幸治 (富山大学附属病院リハビリテーション部)

パーキンソン病における多面的アプローチ

三上 恭平(登戸内科・脳神経クリニックリハビリテーション科)

脊髄小脳変性症に対する理学療法のエビデンスと実践知の統合 ―評価指標の進歩から読み解く臨床 的思考―

板東 杏太 (国立精神・神経医療研究センターリハビリテーション部)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 口述23

バランス

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:大槻 暁 (Rehabilitation S.Studio)

森下 元賀 (令和健康科学大学)

O23-1 脳卒中患者のバランス回復特性により分類された各クラスターの臨床的特性の比較と関連する脳画像領域

橋本 優香(南東北福島病院リハビリテーション科)

- **O23-2** 亜急性期脳卒中患者におけるバランス機能と足に対する身体特異性注意の関係 岸 広樹 (山形済生病院リハビリテーション部)
- O23-3 脳卒中片麻痺患者における起立動作の安定性に関連する両下肢筋活動の時間的協調性 宮城 一誠 (横浜新都市脳神経外科病院リハビリテーションセンター)
- O23-4 小脳性運動失調と後索路性運動失調を併発したvon Hippel-Lindau病患者の理学療法の 経験

堀田 健斗 (相澤病院回復期リハ科)

O23-5 重度感覚低下を呈した被殻出血症例に対する膝立ち位歩行練習が立位時麻痺側荷重に及ぼす即時反応:症例報告

小谷 奏空(福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)

O23-6 主成分分析およびGaussian Mixture Modelによる脳卒中患者のバランス回復特性のクラスタリング

阿部 浩明 (福島県立医科大学保健科学部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 口述24

脳卒中生活期

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:元村 隆弘(北九州総合病院)

塚田 直樹 (Rehabilitation Plus株式会社)

O24-1 脳卒中後の目標設定・達成プロセスに伴うQOL向上を妨げる要因〜stigmaに着目した事例間比較〜

知花 朝恒 (川口脳神経外科リハビリクリニックリハビリテーション科)

 O24-2
 慢性期脳卒中患者の重度上肢運動障害に対するTOT-Sの経験 — 3症例のケースシリーズ —

針谷 遼 (BRAIN保険外リハビリ事業部)

O24-3 生活期脳卒中片麻痺患者の歩行におけるLE-Constraint-induced Movement Therapy の長期的効果

奥田 正作 (明治国際医療大学保健医療学部/柔道整復学科)

O24-4 軽症脳卒中者を対象とした運動療法による脳卒中再発予防:システマティックレビューとメタアナリシス

牧 芳昭(鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション部)

O24-5 慢性疼痛を有する地域在住要介護脳卒中後症例における生活空間と上肢活動の変化:症 例報告

梅本 雄太 (宝塚リハビリテーション病院療法部)

O24-6 回復期脳卒中患者におけるTime to Walking Independentlyを用いた歩行自立予測 カットオフ値の検討

渡邉 唯我 (社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンターリハビリテーション部)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 口述25

測定・評価2

第5会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 鳳東)

座長:酒井 克也(東京都立大学)

伊藤 優也 (秋田県立循環器・脳脊髄センター)

O25-1 急性期脳卒中患者におけるFugl-Meyer Assessment Lower Extremityの臨床的に意味のある最小変化量の検討

中園 哲治(北里大学病院リハビリテーション部)

O25-2 右背外側前頭前皮質への経頭蓋直流電気刺激が認知-運動二重課題に及ぼす影響 ―二重 盲検無作為化比較試験―

三浦 拓(北海道大学大学院保健科学院リハビリテーション科学分野)

O25-3 急性期脳卒中患者における座位側方体重移動課題の左右差とバランス能力との関連:横断研究

井上 大聖(福井大学医学部附属病院リハビリテーション部)

- O25-4 脳卒中後の足関節運動制御:運動準備と実行における脳波結合と因果性の解析 伊藤 大輝 (近江温泉病院総合リハビリテーションセンター)
- **O25-5** 脳卒中患者のLate subacuteにおける歩行速度のMinimal Important Changeの外部 検証

惜口 惇(弘前脳卒中・リハビリテーションセンターリハビリテーション部)

O25-6 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中後痙縮の部位別発現と経時変化 杉邑、雅樹(訪問看護ステーションおおみち在宅事業部)

11月1日(土) 9時00分~10時30分

教育講演3

オンデマンド配信あり

脊髄損傷

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

脊髄損傷(完全損傷)の理学療法

有地 祐人 (総合せき損センター中央リハビリテーション部)

脊髄損傷(不全損傷)の理学療法

宮下 創 (森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)

脊髄損傷後の理学療法のエビデンス

吉川 憲一 (茨城県立医療大学付属病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 10時50分~12時20分 教育講演4

オンデマンド配信あり

パーキンソン病

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

パーキンソン病の病期別の理学療法:早期~中期

三上 恭平(登戸内科・脳神経クリニックリハビリテーション科)

パーキンソン病の病期別(進行期)の理学療法

成田 雅(北祐会北海道脳神経内科病院リハビリテーション部)

パーキンソン病の理学療法のエビデンス

大塚 裕之 (昭和医科大学大学院保健医療学研究科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 □述26

予後予測

第6会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲Ⅱ)

座長:高見 彰淑(弘前大学)

佐藤 博文 (さいたま市民医療センター)

O26-1 化学放射線療法後に著しい動作能力の回復を示した星細胞腫患者に対する課題-1症例を 通しての検討-

皆方 伸(秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部)

- O26-2 脳卒中後の再入院には急性期病院退院時ADLよりもサルコペニア関連指標が影響する 奥田 和希(公益財団法人甲南会甲南医療センターリハビリテーション部)
- O26-3脳卒中患者における白質線維束損傷度と麻痺側下肢機能との関連性山本 涼介 (京都橘大学大学院健康科学研究科)
- O26-4 急性期脳卒中における入院時体幹機能及び早期離床の実施が退院時嚥下機能に与える影響

平山銀次郎(甲南医療センターリハビリテーション部)

O26-5 Brown-Sequard型脊髄損傷により右上下肢麻痺を呈した症例─Brown-Sequard症候群のエビデンス構築に向けて─

仮屋園愛人(桜十字白金リハビリテーション病院リハビリテーション部)

O26-6 回復期リハビリテーション病棟の退院時運動FIMに影響する脳卒中患者の身体機能および体組成要因の検討

中村 洋平 (花川病院リハビリテーション部/理学療法科)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 ハンズオンセミナー2

事前予約制

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

座長: 大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

身体操作(ハンドリング)の進化に向けて-臨床における身体操作は科学になり得るか? –

大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

共催:株式会社INOMER

11月1日(土) 10時10分~11時10分 特別企画2 シンポジストとしゃべりまっし

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

司会: 生野 公貴(西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

玉利 誠(令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科)

ゲストスピーカー: 河野 裕治 (藤田医科大学病院リハビリテーション部)

藤井 廉(武蔵ヶ丘病院武蔵ヶ丘臨床研究センター)

山口 智史(京都大学大学院先端理学療法学講座)

神谷健太郎(北里大学医療衛生学部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 特別企画3

希望の実現のための理学療法+当事者が語る理学療法士のリアル

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

司会:大畑 光司(北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

ゲストスピーカー:佐川 陸

> 水野 直也 長尾 風我

11月1日(土) 13時20分~14時20分 ハンズオンセミナー3

事前予約制

Orthobotの実際 -対象者へのリアルタイム症例検討-

第7会場(ANAクラウンプラザホテル金沢3階 瑞雲 I)

座長:大畑 光司(北陸大学健康未来社会実装センター/医療保健学部理学療法学科)

Wearable Rehabilitation Robot "オルソボット"における誘導とその目的

大畑 光司 (北陸大学健康未来社会実装センター/ 医療保健学部理学療法学科)

共催:フィンガルリンク株式会社

11月1日(土) 9時00分~10時00分 e-Poster 27

脳損傷回復期1

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:濵田 裕幸(東京大学大学院)

- eP27-1 小脳性運動失調患者における年齢・重症度を考慮した患者特性の検討—SAM-S— 佐藤 博文 (さいたま市民医療センター診療技術部リハビリテーション科)
- eP27-2 回復期脳卒中患者における経皮的神経電気刺激の実施時間と意識障害への影響-症例報告-中村芽玖美(西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP27-3 Anton症候群への段階的理学療法:視覚内省の変化とADL改善の関連 **祥汰**(岸和田リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- プッシャー現象を呈する脳卒中患者に対してベッドサイドで壁にみたてた台を使用して eP27-4 介入を行った症例報告

持田 桂一(出雲市民リハビリテーション病院リハビリ室)

eP27-5 回復期入棟時Stroke Impairment Assessment Setと退棟時歩行自立の関連及びカットオフ値の検討

小原 卓己 (熊本リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP27-6 回復期脳卒中者における入棟後1週間の身体活動量が自立歩行獲得までの期間に及ぼす 影響

今井 玲華 (JCHO東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室)

eP27-7 階段昇降訓練に機能的電気刺激を併用した脳卒中片麻痺者の歩行能力に対する効果の検討

古田 早志 (おくさわ脳卒中リハビリテーション病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 e-Poster28

脳損傷装具・ロボット1

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:兒玉 隆之(京都橘大学)

eP28-1 歩行学習支援ロボットにおける介助ベルトの使用効果

栗田 洋平 (善常会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP28-2 PB症状のある患者と体格差がある場合にリハビリテーション支援ロボットを用いた歩行 練習とその効果

旭 歩美 (善常会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

- eP28-3 自家成体幹細胞投与後に歩行練習支援ロボットによる歩行練習を実施した一症例 片山 雄登 (社会医療法人さくら会さくら会病院リハビリテーション科)
- eP28-4 仮想現実技術を用いたリーチ練習が右上下肢に運動失調を呈する両片麻痺者の起立および歩行能力に与える影響
 小林 広空(偕行会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP28-5 先天性内反足を有する脳卒中患者の長下肢装具作成の経験:症例報告

工藤 琴音(横浜なみきリハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP28-6 本人用と備品の長下肢装具装置時における介助歩行中の筋活動比較 北條 朝陽 (札幌白石記念病院リハビリテーション技術室)

eP28-7 重度脳卒中患者における長下肢装具使用とサルコペニア・FIM変化との関連 **齋藤** 翔 (一般財団法人多摩緑成会緑成会病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 **e-Poster29**

脳損傷装具・ロボット2

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:冨田 憲 (藤田医科大学七栗記念病院)

eP29-1 歩行アシストロボットでの歩行練習量と退院時の歩行自立度との関連性

大宮 百華(札幌柏葉会病院リハビリテーション部)

eP29-2 脳卒中後患者におけるロボット支援歩行練習後の歩行自立に関連するバランス難易度の 特徴

田代 裕大 (マッターホルンリハビリテーション病院リハビリテーション部)

- eP29-3 回復期脳卒中片麻痺者に対する歩行アシストロボットを用いた介入効果ー症例報告ー 萩野 一志 (川口きゅうぽらリハビリテーション病院リハビリテーション科)
- eP29-4 被殻・視床出血患者における皮質脊髄路走行領域の損傷度と歩行練習時における長下肢 装具使用期間との関係

澤島 佑規(偕行会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

- eP29-5 重度脳卒中者における歩数と装具カットダウン時期の検討 症例報告 加藤 龍 (緑成会病院リハビリテーション部)
- eP29-6 長下肢装具歩行練習での介助方法の工夫が歩行パラメーターに与える影響 西山穂乃佳(善常会リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP29-7 Pusher現象に加え、疼痛の破局的思考が重症な頸部痛に対して頸椎装具を使用して離床 練習を行った症例

菱山 明彦 (多摩丘陵リハビリテーション病院リハビリテーション技術部理学療法学科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 **e-Poster30**

物理療法

第8会場(ANAクラウンプラザホテル金沢2階 セラビィ)

座長:中原 寿志(宮永病院)

eP30-1 重度感覚障害を呈する上肢感覚性運動失調に対して振動を用いた物理的介入が手指巧緻性の改善に至った一症例

笹山 健斗 (岸和田リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)

eP30-2 小脳性運動失調症例における一次運動野の反復性経頭蓋磁気刺激による 立位制御の即時 的改善効果:症例報告

大沼 雄海 (東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科)

eP30-3 脳卒中術後慢性期症例に対する神経再生医療とニューロリハビリテーションの複合治療による効果

田村 正樹 (岡山医療専門職大学健康科学部理学療法学科)

eP30-4 下肢痙縮筋に対し理学療法と反復性末梢磁気刺激を併用後、動作時の筋緊張軽減が得られた被設出血の1例

岩佐 厚志 (大隈病院リハビリテーション科)

eP30-5 脛骨神経への末梢神経電気刺激を併用した課題指向型練習によりバランス能力が改善した脳卒中患者の1例

三瓶あずさ(南東北第二病院リハビリテーション科)

eP30-6 Pusher症候群を呈した脳梗塞患者一例に対する動的立位での直流前庭電気刺激の介入経験

高松 賢司 (関西電力病院リハビリテーション部)

eP30-7 麻痺側遊脚期にクリアランスが低下した脳卒中症例における機能的電気刺激が下肢の運動学的側面に及ぼす影響

比嘉 康敬 (宝塚リハビリテーション病院療法部)

11月1日(土) 9時00分~10時00分

e-Poster31

脳損傷回復期2

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:丸山 元暉 (秋田県立循環器・脳脊髄センター)

eP31-1 身体パラフレニアと余剰幻肢様の症状を呈し特異的な帰属形式を認めた症例の継時的変化

喜瀬 眞理(福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP31-2 多彩な高次脳機能不全からpusher現象の遷延化を認めた症例の介入経験〜両下肢の位置関係に着目して〜

和田 俊文 (摂南総合病院リハビリテーション科)

eP31-3 セラピストの運動を介したEMGに基づくクローズドループ電気刺激プロトタイプの提案

永井 美和 (NTT人間情報研究所)

- eP31-4 重度片麻痺例に対する体幹機能改善を目的としたエルゴメーター介入の試み:症例報告 速水 光 (緑成会病院リハビリテーション部)
- eP31-5 回復期脳卒中患者におけるTrunk Impairment Scaleを用いた体幹機能と歩行の関連性の検討

石渡 正浩 (植草学園大学保健医療学部)

eP31-6 前庭動眼反射を用いた介入にて眼球運動が改善し、運転再開に至ったOne and a half症候群の一例

福田 涼太 (出雲市民リハビリテーション病院リハビリ室)

eP31-7 右橋梗塞により運動麻痺と病巣とは対側へのBody Lateropulsionを呈した症例に対する理学療法とその経過

宮島 康輔(今村総合病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 **e-Poster32**

脳損傷回復期3

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:岩本 紘樹(日高リハビリテーション病院)

eP32-1 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の浴槽移乗完全自立に必要な因子の 検討

江郷七夕子(医療法人社団和風会橋本病院リハビリテーション部)

eP32-2 延髄外側梗塞によりBody Lateropulsionを呈した患者の歩行自立を目指して 一前庭機能に着目した介入—

菊池 純菜 (済生会東神奈川リハビリテーション病院セラピスト部)

eP32-3 回復期脳卒中患者の運動FIM改善と座位Breakの関連性について〜歩行可否による座位 Breakの修飾効果の検証〜

竹内 睦雄 (熊本機能病院総合リハビリテーション部)

eP32-4 脳卒中片麻痺者に対する機能的電気刺激を併用した高速トレッドミル歩行練習時の視覚フィードバックの影響

山田 弥人 (札幌麻生脳神経外科病院リハビリテーション部)

eP32-5 脳梗塞後に二次的合併症を呈した状態から、屋内歩行自立を獲得した脳卒中片麻痺患者の一症例

藤田 真希 (新さっぽろ脳神経外科病院リハビリテーション科)

- eP32-6 小脳梗塞を呈した複視患者に対し眼球運動訓練を実施しADLが改善した症例 藤原理紗子(岸和田リハビリテーション病院リハビリテーションセンター)
- eP32-7 回復期脳卒中者におけるBerg balance scaleのMinimal Important Changeの外的検証

久保 宏紀 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 e-Poster33

脳損傷測定·評価4

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:斉藤 琴子(湘南医療大学)

eP33-1 本邦の神経理学療法領域におけるバランスアウトカム指標の使用状況とその障壁に関するアンケート調査研究

五十嵐達也(日本神経理学療法学会戦略的課題解決委員会姿勢バランス障害班)

eP33-2 重心動揺リアルタイムフィードバック装置が多疾患複合症例の静的立位に与える即時効果:単一事例研究

丸谷 暁子 (北海道大学大学院保健科学院)

- eP33-3 高齢者における感覚条件に応じた立位姿勢制御戦略の変容 藤田 大輝(西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP33-4 家具の材質の違いが高齢者の前頭前野血流量および主観的感覚に与える影響とその類型 化

川崎詩歩未(東京科学大学工学院)

- eP33-5 脳卒中者の麻痺側肩甲上腕関節裂隙距離のタイプ分類と病態との関係 岡嵜 太洋 (加賀市医療センターリハビリテーションセンター)
- eP33-6 関節剛性計による痙縮評価の有効性: 1症例を対象とした予備的検討 椎名 平 (季美の森リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)
- eP33-7 膠芽腫術後のADL改善に対する歩行運動学的指標の寄与に関する後方視的調査 楠田 賢斗(広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門)

第9会場(石川県立音楽堂2階 ホワイエ前)

座長:大島 埴生 (岡山リハビリテーション病院)

- eP34-1 回復期脳卒中患者の歩行障害に対する長時間機能的電気刺激の効果検証:症例集積研究 今野 翔太 (湘南慶育病院リハビリテーション部)
- eP34-2 回復期脳卒中患者におけるCSSNSを用いたリハビリテーション治療満足度に影響する因子の検討

山田 崇博 (大阪鉄道病院リハビリテーション科)

- eP34-3 脳卒中患者における特性的自己効力感と運動学習効率との関連性 松本 侑也 (金沢赤十字病院リハビリテーション科)
- eP34-4 脳部出による体幹失調と前庭症状に対する視覚・頭部運動をいた介の症例 横川 昂輝(社会医療法人信愛会畷生会脳神経外科病院リハビリテーション科)
- eP34-5 脳卒中片麻痺患者のアキレス腱への振動刺激による運動錯覚が静的バランスに与える効果 屋富祖 司(大浜第二病院リハビリテーション科)
- eP34-6 脳卒中後上肢感覚運動障害に対するiNems介入の効果: 脳波変化と臨床症状の関連性 溝本 恭久 (渡辺病院リハビリテーション科)
- eP34-7 運動前野を含む多発性脳梗塞症例に対するERD同期型iNemsトレーニングの効果 上 肢機能及びADLに着目して 西ヶ谷嘉一 (善常会リハビリテーション病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 **e-Poster35** 脳損傷装具・ロボット3

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:伊東 祐輔 (農協共済別府リハビリテーションセンター)

eP35-1 脳卒中片麻痺者がリハビリテーション病棟退院時に使用する短下肢装具の選定基準 決定 木分析を用いた検討

荒田正太郎(藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部)

- eP35-2 転移性脳腫瘍により運動麻痺や感覚障害を呈した症例に対する短下肢装具作製時の考察 青島 健人 (藤枝平成記念病院リハビリテーション部)
- eP35-3 AIにより回復期リハビリテーション病棟入院時に脳卒中症例の装具処方有無を予測できるか

安部 千秋 (十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科)

eP35-4 歩行支援ロボットを実施した脳卒中片麻痺患者における早期歩行獲得の予測因子―決定 木分析による検討―

池上 滉一 (社会医療法人三栄会ツカザキ病院リハビリテーション科)

eP35-5 脳卒中者に対する下肢装具の適応における理学療法士の意思決定要因と困難さに関する 探索的研究

平塚 健太 (函館市医師会看護・リハビリテーション学院生体医工学研究センター)

- eP35-6 長下肢装具の足継手の種類と入院時移乗動作は退院時のADLに関連するのか? 堀内 涼平 (愛仁会リハビリテーション病院リハ技術部)
- eP35-7 KAFOからAFOへの移行期における脳血管障害片麻痺患者への歩行支援装置介入効果と 適応に関する予備的調査

厚田 浩明 (大分リハビリテーション病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 e-Poster36

脳損傷回復期5

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:佐藤 大地 (山梨リハビリテーション病院)

eP36-1 歩行非自立の回復期脳卒中者における入棟後1か月間の身体活動量変化と退院時自立歩 行可否の関連

鈴木 佳樹 (JCHO東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室)

- eP36-2 歩行自立前の脳卒中患者に対する歩行支援ロボットの有効性 山口祐太郎(脳神経リハビリ北大路病院リハビリテーション部)
- eP36-3 心肺停止後の低酸素脳症によりLance-Adams syndromeを呈した症例への介入 ~1人 介助で車椅子乗車できるまで~

菅原 紘子(函館稜北病院リハビリテーション部)

- eP36-4 復職に向けた課題特異的介入により職業復帰に至った中高年急性硬膜下血種後の一症例 月岡 裕司 (第二協立病院理学療法科)
- eP36-5 感覚障害を有する脳卒中患者の日常生活動作および運動機能の経時的変化 淡路 彩夏(岸和田リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP36-6 延髄外側脳梗塞後にめまいの急性増悪を認めた症例 〜中枢性めまいと末梢性めまいの対応について〜

有川 梨央 (大手町病院慢性期リハビリテーション科)

eP36-7 入院時FIMに依存しない指標に補正したFIM-effectivenessに影響を与える因子 塚元 達也(宝塚リハビリテーション病院療法部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 e-Poster37

脳損傷回復期6

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:我妻 昂樹(東北文化学園大学)

eP37-1 回復期脳卒中患者における長下肢装具の装着が立位姿勢制御に及ぼす効果:健常者との 比較

甲斐 匠 (初台リハビリテーション病院回復期支援部)

eP37-2 中枢性めまいを呈した回復期脳卒中患者に対する前庭リハビリテーションの効果 - 2症 例の経過の検討 -

勝永 天斗(横浜なみきリハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP37-3 Virtual Realityを用いて移乗介助量が軽減した高次脳機能低下・プッシャー現象を有する重度運動麻痺例

永井 美穂(わかくさ竜間リハビリテーション病院リハビリテーション部)

eP37-4 フレイル合併高齢回復期脳梗塞患者における理学療法単位数の差異が退院6ヵ月後の帰結に与える影響

北岡 清吾 (足利赤十字病院リハビリテーション技術部)

eP37-5 回復期脳卒中患者の自宅退院6ヶ月後におけるフレイルの変化について 〜退院時屋内歩行非自立者での検討〜

與川 大樹(足利赤十字病院リハビリテーション技術部)

- eP37-6 脳卒中後運動失調患者におけるSARAを用いた重症度分類の試み ~多施設研究SAM-S~ 小林 陽平(埼玉石心会病院リハビリテーション課)
- eP37-7 回復期リハビリテーション病棟における非介入時間の身体活動支援の実態:横断的アンケート調査

古西 幸夫 (初台リハビリテーション病院回復期支援部)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 **e-Poster38**

脳損傷回復期7

第10会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス①)

座長:荒木 草太(東北福祉大学)

eP38-1 外減圧術後に頭蓋形成術未了の状況で神経症状の回復を認めた慢性期大脳半球欠損の一 症例

岩田 昴樹 (札幌柏葉会病院リハビリテーション部)

eP38-2 左視床出血による重度感覚麻痺と錐体路損傷を呈した症例に対し,歩行の再獲得を目指した1例

金曽 光輝 (世田谷記念病院リハビリテーション部)

- eP38-3 回復期脳卒中患者における退院2ヶ月後の身体活動量に関連する要因 石見 佳一 (江東リハビリテーション病院リハビリテーション科)
- eP38-4 脳卒中後片麻痺患者における二次元動作解析ソフトを用いたT-cane及びQ-caneの選定: 事例報告

荒井 恵介(江東リハビリテーション病院リハビリテーション科)

- eP38-5 小脳出血による重度失調症例に対する認知的戦略を用いたリハビリテーションの影響 進藤 龍也 (岸和田リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- eP38-6 小脳出血後に前庭リハビリテーションを中心とした理学療法を実施し、歩行・バランス能力が改善した一症例

高木 志仁(富山西リハビリテーション病院リハビリテーション科)

eP38-7 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中片麻痺者の下肢装具に対する満足度調 杳

島袋 匡史(大浜第一病院診療技術部リハビリテーション科)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 e-Poster39

脳損傷回復期8

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:小宅 一彰(信州大学)

eP39-1 長下肢装具を用いた歩行練習に嗅覚刺激を併用する事が覚醒及び基本動作介助量軽減に 対して有効である可能性

中西 大樹 (麻生リハビリ総合病院リハビリテーション科)

eP39-2 立位保持困難なパーキンソン病、認知症を有する症例に対するレッグプレス運動が及ぼ す影響についての検討

中川 遼香 (東船橋病院リハビリテーション科)

eP39-3 歩行開始における肢間協調と対側・同側の姿勢・運動制御に着目した脳卒中患者一症例の 報告

> 小坂 **≢**(上伊那生協病院回復期リハビリテーション課)

- 被殻出血により歩行時の腕振りが乏しい症例に対し、足部からアプローチを行った1例 eP39-4 菅原 梨那(世田谷記念病院リハビリテーション部)
- eP39-5 回復期脳卒中患者における透析患者と非透析患者の転機先と日常生活自立度の関連 **溝部 啓太**(貝塚病院リハビリテーション科)
- eP39-6 体幹アライメントの改善が歩行の麻痺側立脚期における支持性に及ぼす影響 -脳卒中片 麻痺者の一症例を通して-

関口 陽介(リハビリテーション天草病院リハビリテーション部)

eP39-7 慢性心不全を既往に有し、サルコペニア・低栄養を合併しADL・QOL改善に難渋した心原 性脳寒栓症の一例

> ЛП□ 豪 (神戸平成病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 e-Poster40

脳損傷回復期9

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:福田 真也(医療法人社団和風会橋本病院)

eP40-1 両側足関節底屈拘縮による背屈制限を呈したが靴型装具作成により自立歩行が可能と なった症例

牧野 翔悟(新久喜総合病院リハビリテーション科)

eP40-2 延髄外側梗塞を呈した症例に対する後方歩行練習の効果;症例報告

> 佐藤 **祐**(森山脳神経センター病院リハビリテーション科)

eP40-3 回復期脳卒中患者の自宅退院6ヶ月後におけるフレイルの変化について〜退院時歩行自 立者での検討〜

杉田 恭平 (足利赤十字病院リハビリテーション技術部)

eP40-4 意図を最小化した麻痺側への荷重の促しにより動作能力の改善がみられた脳出血後片麻痺の1症例

細江 健太 (摂南総合病院リハビリテーション科)

eP40-5 脳卒中片麻痺者の上肢機能に対する目標設定と介入効果;症例報告 井出 亘(社会医療法人社団森山医会森山脳神経センター病院リハビリテーション部)

eP40-6 外傷性脳損傷患者の転帰先決定における家族支援の重要性

伊藤 兼 (岩砂病院・岩砂マタニティリハビリテーション部)

eP40-7 回復期初発入院患者における家庭用ゲーム機器施行がADLおよびバランス能力に及ぼす 影響

小泉 侑希 (汐田総合病院リハビリテーション課)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 **e-Poster41**

神経筋疾患急性期1

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:北原エリ子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

eP41-1 好酸球性多発血管炎性肉芽種症に対する急性期理学療法で自転車エルゴメーターが有効であった一症例

渡邉菜里花(公立学校共済組合九州中央病院医療技術部リハビリ技術科)

eP41-2 重症なギランバレー症候群の人工呼吸器離脱例-フィッシャー症候群の既往がある再発症例-

坂本 宗樹(名戸ケ谷病院リハビリテーション科)

eP41-3 人工呼吸器・胃瘻増設したALS患者に対し、早期から多職種連携を行い自宅での歩行獲得を目指した一症例

尾名高裕生(伊那中央病院リハビリテーション技術科)

eP41-4 早期からの理学療法介入により歩行獲得に至った高齢の重症破傷風の一例 杉山 佳降(一宮市立市民病院リハビリテーション室)

eP41-5 Bickerstaff脳幹脳炎における理学療法の経験〜人工呼吸器管理となったが1ヶ月で自宅 退院に至った症例〜

野倉 豊文 (公立陶生病院中央リハビリテーション部)

eP41-6 パーキンソン病患者におけるDaTscanによるStriatal Binding Ratioとすくみ足の関連性

金田 浩明 (NTT東日本関東病院リハビリテーション医療部)

eP41-7 ステロイドパルス療法と並行して理学療法介入を実施した多発性硬化症患者の一症例 辻本実奈美(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 e-Poster42

神経筋疾患急性期2

第11会場(石川県立音楽堂 邦楽ホール1階 エントランス②)

座長:三上 恭平(登戸内科・脳神経クリニック)

- eP42-1 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による重度多発神経障害から社会復帰を達成した一症例 小川 碧惟(浦添総合病院リハビリテーション部)
- eP42-2 人工呼吸管理を要したギラン・バレー症候群症例の急性期における早期離床の試み-自律神経症状に着目して-

若泉 裕真 (関西医科大学総合医療センターリハビリテーション科)

eP42-3 単下肢麻痺で再発した多発性硬化症患者に対し機能的電気刺激と運動療法の併用が有効であった一症例

相田 一樹 (兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部)

- eP42-4 重症破傷風に対する早期理学療法介入で歩行自立となり自宅退院に至った1例 小牧進太郎(藤元総合病院リハビリテーション室)
- eP42-5 呼吸筋麻痺を伴う重症GBS患者に対して,早期の多職種介入により呼吸器離脱が可能となった一症例

杉本 啓輔(倉敷中央病院リハビリテーション部)

- eP42-6 乳癌に伴う皮膚筋炎様症状によりMMT1まで低下したが歩行を再獲得した一例 野々垣政志(埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション部)
- eP42-7 誤嚥性肺炎発症とCK値上昇を認めた軸索型ギランバレー症候群の一例〜負荷量・環境設定に着目して〜

五嶋 祥大 (国際医療福祉大学熱海病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 9時00分~10時00分

e-Poster43

神経筋疾患回復期

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:北野 晃祐(村上華林堂病院)

eP43-1 前頚部軽擦刺激による姿勢および自律神経活動への即時的影響:パーキンソン病患者を対象とした予備的検討

藤田 裕子(文京学院大学理学療法学科)

eP43-2 有酸素運動により、下肢の筋肥大を認め社会復帰が可能となった視神経脊髄炎スペクト ラムの1症例

吉竹 大輝(大手前病院臨床療法室)

- eP43-3 球脊髄性筋萎縮症に対する中等度運動負荷の効果が得られた症例 角畑 麻佑 (医療法人社団双星会みなみの星病院リハビリテーション科)
- eP43-4 長期臥床後の対麻痺患者に対するボツリヌス療法と長下肢装具を用いた集中リハビリテーション治療の効果

上間 大輝(ちゅうざん病院リハビリテーション療法部)

eP43-5 筋強直性ジストロフィー患者におけるcovid-19肺炎後の廃用症候群に対する理学療法の経験

eP43-6 大腿骨転子部骨折後のシャルコー・マリー・トゥース病患者に対し電気刺激療法を行った 一例

遠藤 謙太 (医療法人喬成会花川病院リハビリテーション部理学療法科)

eP43-7 車椅子座位自立を目指し姿勢修正を図った症例 - 荷重位での自動運動と視覚フィード バックを併用した介入 -

飯田 健貴 (IMS<イムス>グループイムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 **e-Poster44**

脳損傷急性期4

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:木下 篤(さくら会病院)

- eP44-1 重度感覚機能低下を呈した急性期脳卒中患者一例に対する機能的電気刺激の効果 折本 悠(福岡青洲会病院リハビリテーション部)
- eP44-2 急性期脳卒中患者における位相角の変化とその要因:NIHSSや性別の影響 内田 周汰 (高槻病院リハビリテーションセンター)
- eP44-3 Stroke Care Unitにおける3軸加速度計を用いた身体活動量評価の精度検討-脳卒中患者2症例の解析-

松本 将輝 (手稲渓仁会病院リハビリテーション部)

eP44-4 当院くも膜下出血(subarachnoid hemorrhage;SAH)患者の歩行開始までの日数に関連する因子の検討

堤 正裕(船橋市立医療センターリハビリテーション科)

- eP44-5 急性期の脳卒中患者におけるNIHSSを用いた転帰先の検討 金子 拓矢 (医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院リハビリテーション科)
- eP44-6 くも膜下出血術後に様々な合併症により急性期リハビリテーションが難渋した症例 浦川 隆司(済生会熊本病院リハビリテーション部)
- eP44-7 脳出血後に播種性血管内凝固症候群を呈し人工呼吸器離脱に向けた一症例 平賀 若菜(イムス三芳総合病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 **e-Poster45**

脳損傷急性期5

第12会場(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:前川 侑宏(神戸市立医療センター中央市民病院)

eP45-1 前大脳動脈領域脳梗塞による下肢運動機能障害に対して外的刺激を用いた介入を実施した一症例

伊東 達哉 (一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院リハビリテーション科)

eP45-2 近赤外分光法を用いた体組成分析装置による急性期脳卒中者の入院時と2週時の骨格筋量の変化

長谷川光輝 (彩の国東大宮メディカルセンターリハビリテーション科)

eP45-3 右半側空間無視症例に対する輪投げを用いたリーチ動作練習の効果 ─ABAシングルケースデザインによる検討─

鈴木 駿介 (秀和総合病院リハビリテーション科)

- eP45-4 重複症状で歩行能力低下を呈した橋梗塞症例に対して交替操作型デザインを用いた検討 山口 純(公立置賜総合病院リハビリテーション部)
- eP45-5 重症急性硬膜下血腫術後における早期離床と両側長下肢装具の活用が歩行機能の改善に 寄与した一例

平野 裕大 (NTT東日本関東病院リハビリテーション医療部)

- eP45-6 機械的血栓回収療法を施行された急性期脳梗塞患者に対する早期離床の効果検証 芦田 光 (東京女子医科大学八千代医療センターリハビリテーション部)
- eP45-7 肝移植後にくも膜下出血を発症した10歳代の患者に対する理学療法介入―急性期から自宅退院に至った症例―

伊藤 沙織(長崎大学病院リハビリテーション部)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 ポスター2-1 バランス

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:堀場 充哉 (名古屋市立大学) **吉川 昌太** (さくら会病院)

P2-1-1 退院時FIM下位項目とMini- BESTestの関連性 一回復期リハビリテーション病棟における中等症患者の検討一

藤澤 大介(社会医療法人三車会貴志川リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P2-1-2 亜急性期脳卒中患者におけるCoP指標を用いたinstrumented mCTSIB複合スコアの開発と妥当性の検討

五十嵐達也(文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科)

P2-1-3 軽症脳梗塞患者の退院時バランス能力と6ヶ月後の転倒との関連

松元・大修(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院リハビリテーション部)

P2-1-4 脳卒中片麻痺者における360度回転動作の運動学的分析

末永 卓也 (大勝病院脳神経内科・リハビリテーション部)

P2-1-5 脳卒中者におけるBerg Balance Scale を用いた診断予測精度―システマティックレビュー・メタアナリシス―

小林 壮太 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部)

P2-1-6 島皮質後部から右下頭頂小葉皮質下の膿瘍に起因する中枢性前庭障害への前庭リハビリテーションの効果

吉田 麗花 (千里リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P2-1-7 立位姿勢制御能力低下を呈した小脳出血患者に対する胸部への受動的対人ライトタッチ の影響:症例報告

丸 貴行(石川病院リハビリテーション科)

P2-1-8 軽度脳卒中患者1例に対して予測・反応的姿勢制御の改善を目的に壁へのボール蹴りの反復練習を用いた試み

小出 菜摘 (聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーションセンター)

P2-1-9 小脳梗塞により中等度の運動失調を呈した症例 —感覚へのアプローチが早期退院に繋がった—例—

柳沼 直人 (IMSグループ医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院リハビリテーション科)

P2-1-10 立ち上がり動作時に脳卒中後遺症者麻痺肢で前方化した足圧中心と過大なサポートモーメント

坊 大樹 (人間総合科学大学理学療法学専攻)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 ポスター2-2 装具・ロボット2

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:土山 裕之(医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院)

小川 洋介(小金井リハビリテーション病院)

- P2-2-1 下腿義足作成過程における義足への身体所有感を経時的に評価した一例 中前 匡揮 (角谷リハビリテーション病院診療技術部)
- P2-2-2若年脳卒中者に対するReverse Omega Shoe Insertの即時効果と持続効果の検討榎本 沙彩(埼玉県総合リハビリテーションセンター理学療法科)
- P2-2-3 急性期脳卒中重度片麻痺者に対する本人用長下肢装具作製による活用が、身体機能、日常 生活動作に及ぼす影響

佐藤 元哉 (社会医療法人医翔会札幌白石記念病院リハビリテーション技術室)

P2-2-4 脳血管患者に対する長下肢・短下肢装具における歩行時の大腿四頭筋群の筋電図学的評価

吉田 大地 (医療法人福岡桜十字花畑病院リハビリテーション部)

P2-2-5 短下肢装具の有無による歩行時荷重指標の変化-自立歩行に装具着用を要した脳腫瘍片 麻痺患者の一例-

木村 和貴(自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター)

P2-2-6 脳梗塞後のPushing症候群に対し急性期からの装具使用と歩行訓練によりADLが向上した症例

太田 瑞穂 (昭和医科大学藤が丘病院リハビリテーション室)

- P2-2-7 急性期脳卒中片麻痺患者における短下肢装具の装着が与える歩行特徴の変化 林 祐介 (順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学)
- P2-2-8 歩行練習支援ロボットを用いた急性期脳卒中患者〜前大脳動脈に限局した脳梗塞を呈した1症例〜

松田 侑也 (みどりヶ丘病院リハビリテーション部)

P2-2-9 脳梗塞発症後に視力を失った患者に対する歩行アシストロボットの効果 ―シングルケースデザインによる検証―

赤岩 眞悠 (札幌柏葉会病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 ポスター2-3 脳卒中回復期1

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:金居 **督之**(金沢大学)

久保田勝徳(医療法人福岡桜十字桜十字福岡病院)

P2-3-1 脳神経外科病棟における脳卒中患者のADL調査~階層的クラスター分析による類型化と 特徴、傾向について~

中島 薫平 (大手町病院リハビリテーション科)

- P2-3-2 脳卒中後に痙縮が発現した患者の回復期病棟退院後のフォローアップについて 宇渡竜太郎(西宮協立リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- P2-3-3 股関節機能に着目した荷重量評価を用いて長下肢装具のカットダウンに対する有用性を 検証した左視床出血例

曽木 健太(竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション部)

- P2-3-4 脳卒中片麻痺者における臨床評価と動作分析の相違に基づく理学療法介入 橋爪麻衣子(リハビリテーション天草病院リハビリテーション部)
- P2-3-5 右被殻出血後のPusher現象に対し、体性感覚情報を用いた介入により改善が得られた1 例

齋藤 旬基(世田谷記念病院リハビリテーション部)

- P2-3-6 腹臥位療法によりPusher現象が改善した脳出血の一症例 山本 樹(新久喜総合病院医療技術部リハビリテーション科)
- **P2-3-7** 海綿状血管腫が原因の脳幹出血後に歩行自立に至った一症例 工藤 哲史 (札幌柏葉会病院リハビリテーション部)
- P2-3-8 重度脳卒中片麻痺者における座位保持改善への治療介入—体幹機能に着目した即時効果の2症例比較—

岩瀬美紀子 (リハビリテーション天草病院リハビリテーション部)

P2-3-9 脳卒中片麻痺患者における体幹機能の寝返り動作の方向と歩行能力の関連性の検討工藤 晃太 (季美の森リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 ポスター2-4

脳卒中回復期2

第13会場ポスター会場①(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:金子 巧 (新潟リハビリテーション大学)

伊藤 正典 (刈谷豊田総合病院)

P2-4-1 回復期脳卒中患者のリハビリテーションへのモチベーションと日常生活活動能力改善の関連性

石田晋ノ介(総合東京病院リハビリテーション科)

P2-4-2 回復期脳卒中患者におけるリハビリテーションへの参加意欲と入院時ADL能力がADL改善に与える影響

川上 健司 (京都リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P2-4-3 脳卒中患者における方向性を用いた歩行トレーニングの一考察:非麻痺側へのサークル 歩行を中心に

岡山 永実(宝塚リハビリテーション病院療法部)

- P2-4-4 脳卒中片麻痺患者における歩行速度と歩行対称性の経時的変化 ~1症例の報告~ 山本 宏樹 (千里リハビリテーション病院セラピー部)
- P2-4-5 回復期脳卒中片麻痺患者の下肢痙縮に対し拡散型体外衝撃波治療が歩行中の筋活動に及ぼす影響: 症例検討

山本 真生 (東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P2-4-6 左変形性股関節症による脚長差を有しながらも 自立歩行を獲得した右片麻痺1症例に対する理学療法の経験

越後谷和貴 (秋田県立循環器・脳脊髄センター機能訓練部)

P2-4-7 マーカーレスモーションキャプチャを用いた脳卒中片麻痺者の車椅子駆動評価 – 1回の 理学療法による変化 –

石井 貴朗(リハビリテーション天草病院リハビリテーション部)

- P2-4-8 麻痺側手指によるボールローリング課題を実施し箸操作開始に繋がった症例 武藏 晃平 (医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- P2-4-9 回復期脳梗塞患者の抗重力位運動と補足運動野への経頭蓋直流電気刺激の併用に関する 検討;単一症例研究

笹田 朱音 (淀川平成病院リハビリテーション部)

P2-4-10脳卒中後の患者におけるTrunk muscle mass indexは自立歩行に関連する大城拓真(ちゅうざん病院リハビリテーション療法部)

11月1日(土) 9時00分~10時00分

ポスター2-5

脳損傷回復期3

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:加辺 憲人(初台リハビリテーション病院)

邑口 英雄(日高病院)

P2-5-1 回復期における早期ボツリヌス療法により歩行機能の改善を認めた1症例

宮家 瑠花 (社会法人財団大樹会総合病院回生病院リハビリテーション部)

- P2-5-2 身体活動量のセルフモニタリングにより運動耐用能およびADLが改善した脳卒中症例 圓句 一真(角谷リハビリテーション病院診療技術部理学療法士科)
- P2-5-3 脳出血後の重度足底感覚機能低下に対して段階的な理学療法介入により歩行能力の改善を認めた一症例

渡邊 雅英 (いちはら病院リハビリテーション療法科)

P2-5-4 脳卒中片麻痺者のステップ動作に対する非麻痺側機能に着目した介入報告 関根 陽平 (医療法人敬愛会リハビリテーション天草病院リハビリテーション部)

P2-5-5 上肢・手指運動麻痺を呈した脳卒中片麻痺者に対する課題指向型練習と運動主体感の関係性: 一症例の検討

三浦 優人 (東八幡平病院地域リハビリテーションセンターリハビリテーション部)

P2-5-6 脳卒中後の患者における入院時筋量および入院中の筋量増加と6分間歩行テストの成績 との関連

佐藤 圭祐 (株式会社LIM projectsウェルネスリサーチセンター)

P2-5-7 情動を考慮し、アフォーダンス探索を促す理学療法が右半球損傷患者の左半側空間無視と歩行に及ぼす効果

新美 文梧 (静清リハビリテーション病院リハビリテーション部)

- P2-5-8 脳損傷者の転倒要因に関する注意・認知機能からの横断的検討 鳥山 将大 (坂総合病院リハビリテーション室)
- **P2-5-9** 右放線冠梗塞を発症した患者のリハビリ前後での身体動揺の変化 原中 沙菜 (浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- P2-5-10 脳卒中片麻痺患者の麻痺側上肢の位置が立位に与える影響に関する予備的調査 佐野 晃平 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 ポスター2-6 脳損傷急性期・生活期

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:倉山 太一(植草学園大学) **豊田 平介**(医療法人社団永生会)

P2-6-1 早期離床後に深部静脈血栓症および肺塞栓症を発症した脳出血症例の経験を踏まえた理 学療法の再考

上濱 裕樹 (鹿児島市立病院リハビリテーション技術科)

P2-6-2 急性期脳卒中患者に対する理学療法時間の規定要因:患者要因と担当理学療法士要因のマルチレベル分析

本間 大智(山形市立病院済生館リハビリテーション室)

P2-6-3 急性期脳卒中患者における発症2週以内の筋量減少に関連する臨床指標の検討:後ろ向き 研究

小田桐 伶(日本保健医療大学理学療法学科)

P2-6-4 ボツリヌス注射の効果に影響を及ぼす要因についての検討 〜痙縮筋の線維化との関係性

西宇 弘治(MIRAI病院リハビリテーション部)

- P2-6-5 自宅復帰後より身体機能が改善し歩行獲得に至った外傷性脳挫傷における1症例 都志 翔太 (北陸病院KKR北陸訪問看護ステーション)
- P2-6-6 継続的な介入により、歩行速度と生活範囲が拡大した生活期脳卒中患者の一考察 ~膝 伸展筋力に着目して~

三本 柊士 (丸川病院リハビリテーション科)

P2-6-7 重度意識レベル低下症例に対する音楽療法の即時効果判定 - 副交感神経活動量推定による検討 -

高木 武蔵 (IMS<イムス>グループイムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院リハビリテーション科)

- P2-6-8 生活期における脳卒中片麻痺患者の車椅子シーティング調整の工夫と課題 久保川 優 (医療法人社団健育会ライフサポートひなたリハビリテーション部)
- P2-6-9 高齢生活期脳卒中後遺症者へ対する長下肢装具の作製は有効な方法であるか:症例報告を通した反省と展望

田中 祐介(公立邑智病院リハビリテーション科)

P2-6-10 脳卒中患者に対するメンタルローテーション課題を用いた二重課題トレーニングが重心 動揺に及ぼす影響

田村 実子(タムスさくら病院江戸川リハビリテーション科)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 ポスター2-7 脳損傷急性期1

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:村上 賢一 (東北文化学園大学) 中川 雄稀 (愛知医科大学病院)

P2-7-1 急性期脳卒中の体組成パラメータは合併症発生の関連因子である本間 敬喬 (兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部)

P2-7-2 Lateropulsionを呈し自覚的視性垂直位偏倚が残存した左小脳・延髄背外側梗塞合併の急性期症例

鈴木 佳之 (JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター理学療法科)

- P2-7-3 全身状態に応じた段階的な介入により身体機能の改善を認めた脳室炎の1例 蛭子 拓真 (三重大学医学部附属病院リハビリテーション部)
- P2-7-4 髄膜腫摘出術後に反対側の皮質下出血を合併し、歩行獲得に難渋した一症例 吉田 光希 (広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門)
- P2-7-5 急性期脳卒中患者におけるポリファーマシーとADL指標の関連 村田 裕康(杏林大学保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)
- **P2-7-6** 急性期でのKAFOを使用した歩行距離はカットダウンの短縮の因子になり得るか〜3症例の症例報告〜

高居 仁哉 (友愛会病院リハビリテーション科)

P2-7-7 当院Stroke Care Unit (SCU) における 現状報告と先行研究との比較 東野優太郎 (大阪市立総合医療センター医療技術部リハビリ臨床工学部門)

P2-7-8 クラゾセンタンナトリウムの症候性脳血管攣縮抑制効果と理学療法への影響:従来治療薬との比較

鈴木 智士 (秋田県立循環器・脳脊髄センター機能訓練部)

- P2-7-9 高齢脳梗塞患者の軽症例における退院時の日常生活活動低下に関連する因子の検証 伊藤 翔太 (藤田医科大学病院リハビリテーション部)
- P2-7-10 脳卒中患者における意識障害の改善と基本動作能力の関連-前向き観察研究-北野 貴之 (浜松医療センターリハビリテーション技術科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 ポスター2-8 脳損傷急性期2

第13会場ポスター会場②(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:保苅 吉秀 (順天堂大学医学部附属練馬病院)谷本 正智 (国立長寿医療研究センター)

- P2-8-1 性格特性によって急性期脳梗塞患者の身体活動量の変化パターンは異なる 清水 咲良(聖隷三方原病院リハビリテーション部)
- **P2-8-2** Branch Atheromatous Diseaseにおける早期神経学的悪化後の改善に関連する因子 大鶴 晃誠 (産業医科大学病院リハビリテーション部)
- **P2-8-3** 歩行可能な急性期脳卒中患者の転倒恐怖感と関連する因子の検討 山田隆一郎(脳神経外科東横浜病院リハビリテーション科)
- P2-8-4 急性期脳卒中患者における側頭筋厚変化とリハビリテーション進度の関連性 細萱 成敏 (聖路加国際病院リハビリテーション科)
- P2-8-5 血栓回収術後の急性期虚血性脳卒中患者の自宅退院にはSIASと嚥下機能低下が関連する原山 永世 (製鉄記念八幡病院リハビリテーション部)
- P2-8-6 急性期脳梗塞患者に対する理学療法の介入量とその構成に関する重症度別の検討:後方 視分析

小嶋 隼 (藤田医科大学病院リハビリテーション部)

P2-8-7 右被殻出血により左半身の感覚消去・運動無視を生じた症例に対して両側運動練習を実施し歩容改善した一例

田中 志穏 (株式会社麻生飯塚病院リハビリテーション部)

- P2-8-8 被設出血の血腫量は急性期病院退院時の機能予後の予測因子となるか 石田 亮 (東京科学大学病院リハビリテーション部)
- P2-8-9 膠芽腫患者に対して術後早期からリハビリテーション介入を行い、自宅退院を目指した 症例

佐藤 嘉純 (国家公務員共済組合連合会浜の町病院リハビリテーション部)

P2-8-10 急性期脳卒中患者における自宅退院と回復期病院転院に関連する因子の検討 金刺 優 (富士宮市立病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 ポスター2-9

神経筋疾患装具・ロボット

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:武田 超(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)

渡部 友宏 (愛知県済生会リハビリテーション病院)

P2-9-1 多系統萎縮症の起立性低血圧に対する移乗サポートロボットHugを用いた下肢の等尺性 収縮の有用性

森山 誠二 (平成の森・川島病院リハビリテーション部)

P2-9-2 多発単神経炎で下垂足を呈した症例に対し, 段階的にHALと電気刺激療法を 実施し, 奏功 した経験

中川 慎也 (新八千代病院リハビリテーション科)

P2-9-3 生体信号反応式運動機能改善装置を用いた歩行訓練の長期的効果を示せた球脊髄性筋萎縮症の症例

若野 士朗 (済生会神奈川県病院リハビリテーションセラピスト科)

P2-9-4 パーキンソン病の腰曲がり症状に対する体幹装具療法の歩行・座位課題時の効果・検討: 症例報告

中元 千聖 (国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

- P2-9-5 HAL腰タイプの使用による神経疾患患者の小刻み歩行改善と歩行性能の向上 前澤 透馬(市立秋田総合病院リハビリテーション科)
- P2-9-6 HAL歩行練習の時間及び速度と5週間前後の歩行能力の変化との関係性―神経難病症例 対象のトライアル調査

沖中 優斗 (大阪急性期・総合医療センター医療技術部セラピスト部門)

伊東 健斗 (藤田医科大学羽田クリニックリハビリテーション部)

P2-9-8 遺伝性痙性対麻痺4例に対する生体信号反応式運動機能改善装置を使用した外来での歩 行運動療法効果

岡部 憲明 (済生会神奈川県病院リハビリテーションセラピスト科主任)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 ポスター2-10

神経筋疾患歩行

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長: 玉地: 雅浩(介護老人保健施設風と緑)

中村 高仁 (埼玉県立大学)

P2-10-1 パーキンソン病における歩行開始時のステップ正確性に関連する脳機能ネットワークの特性: 予備的脳波研究

奥山 紘平 (佛教大学保健医療技術学部理学療法学科)

P2-10-2 重心追尾型歩行計測システムを用いた脊髄小脳変性症患者の歩行動作の特徴分析

野田 貴暉 (北海道脳神経内科病院リハビリテーション部)

P2-10-3 両側末梢前庭機能低下により困難となる歩行課題の検討

田中 亮造(目白大学保健医療学部理学療法学科)

P2-10-4 重症パーキンソン病患者への短時間体重免荷式トレッドミルの効果: ABAB単一事例デザイン

甲斐 太陽 (西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P2-10-5 Miller Fisher症候群を罹患後に両眼性複視と酩酊歩容を呈した1症例に対する片眼遮蔽療法の効果

池内 潤(医療法人倚山会田岡病院リハビリテーション科)

P2-10-6 ギラン・バレー症候群後遺症者への体外衝撃波と運動療法を併用した1回の理学療法介入による変化

本橋 直樹 (リハビリテーション天草病院リハビリテーション部)

P2-10-7 運動難易度の工夫による歩行動作の改善と応用動作獲得の難しさ皮質性小脳萎縮症患者 におけるリハビリ報告

井戸本弘人(公立那賀病院リハビリテーション科)

P2-10-8 Duchenne型筋ジストロフィー患者に対する踵補高の効果ついて:3症例での筋活動に関する検討

滝澤 玲花(国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

- P2-10-9 四肢麻痺型ギラン・バレー症候群患者における歩行自立に影響を及ぼす因子の検討 枡田 隆利 (尼崎だいもつ病院リハ技術部理学療法科)
- P2-10-10 Lance-Adams syndromeの1例における運動療法と薬物療法による段階的介入と歩行制御の適応過程

後藤 祐貴 (千里リハビリテーション病院セラピー部)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 ポスター2-11

脳損傷歩行2

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:高尾 敏文(つくば国際大学) **佐久間 香**(兵庫医科大学)

P2-11-1 脳卒中片麻痺患者の足部変形に対する手術療法前後の歩容変化 ~マーカーレス動作解析 を用いた症例報告~

莟 志帆(熊本機能病院総合リハビリテーション部)

P2-11-2 二重課題条件下でのPC型注意機能評価による屋外歩行時の注意配分障害の検出:症例報告

石榮龍之介(宝塚リハビリテーション病院療法部)

P2-11-3 高強度の歩行練習により全身持久力が改善した脳卒中患者-大腿骨頚部骨折を併発した1 例-

押野 真央 (済生会山形済生病院リハビリテーション部)

P2-11-4 急性期脳卒中患者に体重免荷装置を用いた平地歩行練習を行い歩行自立となった一例 大内 統継(柏厚生総合病院リハビリテーション科)

- P2-11-5 脳梗塞発症後から16年経過後、筋腱移行術を実施し反張膝が改善した症例 新藤 雅和(世田谷記念病院リハビリテーション科)
- **P2-11-6** 脳卒中片麻痺者に対し機能的電気刺激と非麻痺側単脚立位練習の臨床的効果 重松亜貴人(伊予病院リハビリテーション部)
- **P2-11-7** 長下肢装具を使用しての歩行介助方法に着目した一例 志田 **充啓**(国立病院機構側台医療センターリハビリテーション科)
- P2-11-8 脳卒中片麻痺患者の歩行能力に対する脳小血管病変の潜在的影響 伊藤 優也 (秋田県立循環器・脳脊髄センター機能訓練部)
- P2-11-9 重度運動麻痺、半盲、注意障害を認め転倒リスクが高く歩行再建に難渋した症例 寺村 涼馬(社会医療法人医翔会札幌白石記念病院リハビリテーション技術室)
- P2-11-10 脳卒中患者の自力歩行獲得における代償運動の特徴-ウェアラブルデバイスを用いた歩行変動性の検討-

尾科 洋輔 (江東リハビリテーション病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 13時20分~14時20分 ポスター2-12

脳損傷歩行3

第13会場ポスター会場③(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:土山 和大(藤田医科大学)

小林 庸亮 (中伊豆リハビリテーションセンター)

P2-12-1 重度脳卒中患者の歩行獲得と運動頻度に着目した症例報告 ~3ヶ月間の平均歩数と身体機能の経過報告~

鹿志村和央(緑成会病院リハビリテーション部)

P2-12-2 音響性驚愕反射による歩行時下肢筋協調パターンの位相依存的変調:病態理解への新た な視点

大西 空 (畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター)

P2-12-3 脳卒中片麻痺者における新たな歩行評価指標Gait Degree Index(GDI)の臨床的妥当性の検証

森 嘉裕(札幌麻生脳神経外科病院リハビリテーション部)

P2-12-4 片麻痺歩行における両脚支持期の股関節パワー特性に基づく歩容の分類と運動力学的特性

藤本 夏花 (関西医科大学リハビリテーション学部理学療法学科)

P2-12-5 脳卒中後の歩行再建における長期的なリハビリテーションの効果:転倒後の再介入による機能回復

川上 美優 (千里リハビリテーション病院セラピー部)

P2-12-6 中等度片麻痺患者における杖歩行時の代償姿勢と連合反応の変化 -T字杖と四点杖の比較-

天羽 飛翔 (田岡病院リハビリテーション科)

P2-12-7 脳卒中者の後方介助歩行における介助者の技術が筋シナジーおよび下肢関節角度に与える影響

藤井なつみ(宝塚リハビリテーション病院療法部)

- P2-12-8 片麻痺患者の歩行自立度に関連する身体機能および筋シナジー特性の検討 小倉 歩武 (関西医科大学附属病院リハビリテーション科)
- P2-12-9 動機づけ面接に基づいた関わりを通して歩行能力獲得を目指した急性期脳梗塞の1症例 柳川 千聖 (セコメディック病院リハビリテーション部)
- P2-12-10 脳卒中者片麻痺における障害物回避時の回旋パターン分類とその要因

室井 大佑(千葉県立保健医療大学理学療法学専攻)

11月1日(土) 9時00分~10時00分 ポスター2-13

脳損傷歩行4

第13会場ポスター会場④(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:山田 将成 (鵜飼リハビリテーション病院)

小桑 隆 (㈱Welloop)

P2-13-1 歩行時における膝関節時系列波形の類型化と運動学的特徴抽出による脳卒中患者の異常 歩行パターンの特性化

細井雄一郎(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

- P2-13-2 大脳白質病変を有し歩行自立に至らなかった脳卒中軽度片麻痺症例 林 敦史(千里リハビリテーション病院セラピー部)
- P2-13-3 複合的なニューロモデュレーション介入により軽量な短下肢装具の使用が可能となった 脳卒中片麻痺の一症例

守屋 耕平 (慶應義塾大学病院ニューロモデュレーションセンター)

- P2-13-4 歩行速度の違いに基づく脳卒中後片麻痺者の歩行パターンの特徴 川元 芳彦 (大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科)
- P2-13-5 慢性期脳卒中患者の痙縮に対するボツリヌス療法と下腿三頭筋電気刺激併用により歩容の変化を認めた1症例

河合 聖太 (社会医療法人北斗北斗病院リハビリテーション部理学療法科)

P2-13-6 Pushingを呈した左片麻痺患者に対して右側に壁がある環境での運動により即時的に軽減した一症例

小川 洋介(小金井リハビリテーション病院リハビリテーション科)

- P2-13-7 脳卒中片麻痺に対する長下肢装具歩行の筋活動とコヒーレンス解析 向井 康人 (千里リハビリテーション病院セラピー部)
- **P2-13-8** Working-Ageにおける脳卒中患者の独歩自立に必要な因子の検討 森 拓人 (医療法人社団和風会橋本病院リハビリテーション部)
- P2-13-9 トレッドミル歩行トレーニングが歩行効率改善に寄与した症例 〜交換操作型デザインを 用いた比較検討〜

小林 祐介 (篠田総合病院リハビリセンター)

P2-13-10 軽度脳卒中症例における二重課題干渉の分類と臨床的特徴 —運動および認知干渉に基づくクラスター分析—

原田 悠亮(令和リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)

11月1日(土) 10時10分~11時10分 ポスター2-14

脳損傷歩行5

第13会場ポスター会場④(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:川崎 亘 (千鳥橋病院)

川上 健司(京都リハビリテーション病院)

P2-14-1 小脳性運動失調を伴う急性期脳卒中患者に対する体重免荷トレッドミル歩行練習の有効性の検討:症例報告

團野 祐輔(京都第一赤十字病院リハビリテーション科)

P2-14-2 懸垂式体重免荷平地歩行練習が軽度脳卒中片麻痺患者の歩行能力に及ぼす影響:単一事例研究ABAB法

豊島 晶(洛西シミズ病院リハビリテーション科)

P2-14-3 感覚脱失による歩行困難を呈した脳幹出血患者に対する体重免荷式トレッドミル歩行練習の有効性

中島 大輝 (社会医療法人財団新和会八千代病院総合リハビリセンター)

- **P2-14-4** 脳血管片麻痺患者における歩行時のstiff knee gait 改善に向けたアプローチと考察長濵 裕典 (大分リハビリテーション病院リハビリテーション部)
- P2-14-5 脳卒中片麻痺者のLate braking force 発生に関連する運動学的要因の検討 溝口 太仁 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター成人療法課)
- P2-14-6 脳卒中片麻痺者の歩行時における杖使用方法と歩容の関連検証 小桑 隆 (シュポーン株式会社Paracane・Lococane事業部)
- P2-14-7 軽度脳卒中症例における歩行中の下肢同時収縮に影響する因子の検討 松本 拓巳 (令和リハビリテーション病院リハビリテーション療法科)
- **P2-14-8** 心原性脳梗塞後、早期長下肢装具離脱が歩行能力向上に寄与した一例 齊藤 和真 (新久喜総合病院リハビリテーション科)

11月1日(土) 11時20分~12時20分 ポスター2-15

神経筋疾患の個別的介入

第13会場ポスター会場④(石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール)

座長:中野 英樹(京都橘大学)

渡部 幸司(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

P2-15-1 フレイルを呈したパーキンソン病一症例でみた身体機能と行動変容に対する中強度負荷ペダリング運動の効果

阿比留はるか(飯塚病院リハビリテーション部)

P2-15-2 体重免荷トレッドミル歩行練習によりバランス及び歩行能力の改善を認めた脊髄小脳変性症の一症例

多田 俊輔 (北海道大学病院リハビリテーション部)

P2-15-3 特発性正常圧水頭症患者における髄液シャント術前後のバランス機能の変化と特徴 ~ Mini-BESTestを用いて~

渡辺 裕太 (千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部)

- P2-15-4 転倒恐怖感のある脊髄小脳変性症に対する体性感覚に着目した姿勢戦略が著効した一例 稲垣 里奈 (名古屋市立大学病院リハビリテーション技術科)
- P2-15-5 上肢型筋萎縮性側索硬化症に対する残存機能に応じた機器活用によって意思伝達手段を 維持できた1例

阿部 貴文 (魚沼基幹病院リハビリテーション技術科)

P2-15-6 パーキンソン病患者に対するLSVT BIG®は日常生活動作の主観的困難感に変化をもたらすか

村上 美咲 (公立学校共済組合九州中央病院医療技術部リハビリテーション科)

P2-15-7 自己スティグマを抱えるパーキンソン病患者に対する外来理学療法の有用性:QOL向上に至った一症例

吉田 衣里 (西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部)

P2-15-8 慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者に対する高頻度反復性経頭蓋磁気刺激療法と上肢運動療法の併用効果

織田ゆずみ(苑田会ニューロリハビリテーション病院リハビリテーション科)

P2-15-9 軸索型ギラン・バレー症候群の長期経過を追った一例 ―複合筋活動電位の振幅と予後 予測の関連―

小林 誠(東京逓信病院リハビリテーション科)